

基本目標1 子育てを支援する地域づくり													
(1)情報提供・相談体制の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
1	子育て及び家庭教育情報の提供 (子ども家庭課・保育課・生涯学習課・公民館)	<p>【子ども家庭課】子育てに関する各種情報・講座・教室の案内等の情報を、広報や情報誌、ホームページ等での確に提供するよう努めます。(流山市市民便利帳(日本語・外国語)・ママフレ・児童館・児童センター活動パンフレット)</p> <p>【保育課】保育園に関わる市民にとって、分かりやすく使いやすい子育て情報の提供に努めます。</p> <p>【生涯学習課】子ども・親子向けイベントを含む各種講座・教室の案内等の情報を、広報や情報誌、ホームページ等の確に提供するよう努めます。</p> <p>【公民館】若い親が情報ツールとすることが多い、携帯電話のインターネット機能を駆使した情報発信などを視野に、さまざまなメディアを使って、よりの確かつ迅速に子育て情報を提供します。</p>									A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
<p>生涯学習課及び生涯学習センターが主催する「子ども・親子向け講座」などのイベント情報を、広報ながれやま及び市ホームページに掲載し、広く周知しました。</p> <p>また、市主催以外のイベント情報についても、チラシの配架やポスター掲示を随時行いました。【生涯学習課】</p> <p>市民からの窓口、電話等での保育園に関する問い合わせについて、わかりやすい情報提供に努めました。【保育課】</p> <p>ママフレや子育てサイトを活用して、子育てに関する各種情報の提供を行いました。【子ども家庭課】</p> <p>公民館の子育てサロンやセミナー、コンサート等、広報ながれやまや市HPに掲載しました。イベント時に市ツイッターや地域のコミュニティ情報誌を活用し広報活動をしました。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事前申込制にして定員を減らし実施したため、参加をお断りすることもありました。【公民館】</p>						<p>子ども・親子向け講座などのイベント情報について、引き続き、広報ながれやま及び市ホームページに掲載するなど、広く情報の提供に努めます。【生涯学習課】</p> <p>保育所の入所案内など見直しを行い、より分かりやすい情報提供に努めます。【保育課】</p> <p>ホームページ等の情報発信に加えて、LINEを活用した情報提供を導入し、的確な情報提供に努めます。【子ども家庭課】</p> <p>引き続き的確な情報提供に努めます。また、感染症対策でチラシの配布があまり出来なかった中で、若い親が情報ツールとすることが多いインターネットを利用して情報発信など、よりの確かつ迅速に子育て情報を提供します。【公民館】</p>							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
2	子育て支援総合窓口事業 (子ども家庭課)	<p>子どもや保護者が幼稚園や保育所、認定こども園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるような、情報の収集・提供を行い、必要に応じて相談・助言をするとともに、関係機関との連絡調整を行います。</p>									A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
相談対応件数(延べ)				1,316									
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
<p>窓口や電話相談だけでなく、オンライン相談を活用し、子どもや保護者が状況に応じた幼稚園・保育園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるような、情報の収集や提供、助言を行いました。また、相談内容によっては、関係機関と連絡調整し、適切な支援部署・機関につなぎました。</p>						<p>引き続き、オンライン相談等保護者が相談しやすい方法で相談対応と共に、子どもや保護者の状況に即した情報提供や助言ができるよう、情報収集や関係機関との連絡調整を行います。</p>							
(2)地域における子育て支援サービスの充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
3	子育てガイドブックの発行 (子ども家庭課)	<p>子育てに関係する様々な情報を提供し、子育てを家庭を支援するため、「子育てガイドブック」を発行します。また、「子育てガイドブック」を発行し、祖父母世代にパパ・ママ世代の子育てについて理解を深めてもらえる機会の創出を図ります。</p>									A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
ガイドブック配布数		5,000	3,857	6,450									
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
<p>子育てに関する様々な情報を提供するため、転入者等に、流山市の地図と一緒に「子育てガイドブック」を配布しました。</p> <p>また、祖父母世代の方に、「孫育てガイドブック」を配布しています。</p>						<p>次年度は、「子育てガイドブック」の更新時期であるため、より見やすい子育てガイドブックの作成に努めます。</p> <p>また、「子育てガイドブック」を、子育て支援センターや子育て支援員研修の受講生などに広く配布することで、子育てに関する情報の提供に努めます。</p>							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
4	各種相談(子ども家庭課・公民館・指導課・児童発達支援センター)	<p>[子ども家庭課] 児童虐待に関する相談を通じて、関係機関と連携を図りながらその防止に努めます。</p> <p>[公民館] 子育てママのニーズを的確にとらえた子育てママのセミナー開催やコミュニティ形成ができるセミナーを実施します。</p> <p>[指導課] スクールカウンセラーを配置し、電話相談や面談、学校訪問による保護者や児童生徒、教職員の相談体制の充実に努めます。</p> <p>[児童発達支援センター] 障害の早期発見、早期支援に努めるため、療育相談事業を継続します。</p>										A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
子ども発達相談の申し込みから面接日までの平均日数[児童発達支援センター]		35.9	30.4	41.6	25	25	子ども発達相談(延べ相談件数) [児童発達支援センター]		715	1,010	967	1,030	901	
子育てママのセミナー実施回数[公民館]				18	18	18	参加者数[公民館]				192			
スクールカウンセラー配置数[指導課]		8	8	9	9	9	教育相談件数[指導課]		427	663	814			
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
<p>面談時間を短縮(1回の面談を2回に分ける)する等、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら発達相談を実施しました。子どもの相談に合わせて、医師(小児科・小児神経科・精神科)及び心理士、言語聴覚士等の専門職が対応し相談の充実に努めました。また、相談申し込みから相談の実施日までの日数短縮を図るため、発達相談業務の一部を業務委託しました。[児童発達支援センター]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、施設の休館や、部屋の収容定員を半数に利用制限されているため、日程変更を行うことで、市内各公民館等(6館)で事前申し込みによる定員の減数をを行い、開催出来るように助産師等に助言をいただきながら対策を行いました。[公民館]</p> <p>教育相談件数は、年々増加し、相談内容も多岐にわたるため、関係機関との連携を図りながら対応を進めています。[指導課]</p> <p>児童虐待に関する相談に適切に対応できるよう、ケースワーカーのスキルアップを図りました。[子ども家庭課]</p>							<p>継続して新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら発達相談を行い、利用者及び職員の安全に努めます。相談希望者に応えられるように職員体制を整えること、また、相談申し込みから相談の実施日までの日数において、まだ短縮できていないことから発達相談業務を部分的に業務委託することを引き続き行っていきます。[児童発達支援センター]</p> <p>引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事前申し込みによる定員の減数を行い、開催出来るように対策を行います。また、ニーズを的確にとらえた子育てママのセミナー開催やコミュニティ形成ができるセミナーを実施します。[公民館]</p> <p>相談者に寄り添い、様々な相談内容に対応していけるよう、スクールカウンセラーのみならず、スクールソーシャルワーカーや関係機関と連携・共通理解を図ります。[指導課]</p> <p>引き続き、専門性の向上に努めると共に、関係機関との連携し、適切な対応を行っていきます。[子ども家庭課]</p>							
5	地域子育て相談(子ども家庭課・保育課)	<p>[子ども家庭課] 研修を通して各地域子育て支援センターの相談体制の充実に努めます。</p> <p>[保育課] 園開放を行うことで、より身近な相談場所としての機能を果たすことができ、保護者の子育ての不安解消につながるから事業を継続していきます。</p>										A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
<p>子育ての悩みなどを気軽に相談できるよう、地域子育て支援センターを核として相談体制を図れるよう、地域子育て支援センターの研修を行いました。[子ども家庭課]</p> <p>新型コロナウイルス感染症により園開放を実施することはできませんでした。第3者の保育所への立ち入りを制限していたことから再開は厳しい状況です。[保育課]</p>							<p>引き続き、研修を通して地域子育て支援センターにおける子育て相談体制の充実に努め、保護者の育児に関する不安の軽減に努めます。[子ども家庭課]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、人数を制限をするなどして実施することが可能かどうかを検討していきます。[保育課]</p>							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和2年度評価
6	各種相談の連携(子ども家庭課・児童発達支援センター・健康増進課・保育課・教育総務課)	<p>[子ども家庭課]各種相談窓口をはじめ、保健所、児童相談所、民生・児童委員、学校や保育所、学童クラブなど関係機関等との連携の強化を図ります。また、関係機関によるケース検討会議を開催します。</p> <p>[児童発達支援センター]平成27年4月から運営する児童発達支援センターにおいて、関係機関等との協力により児童の支援方針を決定するなど、今後も障害児及びその保護者からの相談を継続します。</p> <p>[健康増進課]各種相談窓口と松戸健康福祉センター(保健所)、児童相談所、民生・児童委員、地域子育て支援センターや保育所、学童クラブなど関係機関等との連携の強化を図ります。また、関係機関によるケース検討会議を開催します。</p> <p>・ケース検討部会(定例会、臨時検討会議)</p> <p>[保育課]公立保育所所長会議、民間保育所協議会等を活用して、情報を共有し、緊急時に速やかに対応できるよう関係機関との連携を強化します。</p> <p>[教育総務課]学童クラブ運営法人連絡協議会及び小学校・学童クラブ・教育総務課で開催する学童クラブに関する三者協議を活用して情報を共有し、児童の健全な育成が図られるよう関係機関との連携を強化します。</p>	A・B・C・D

主な活動指標(事業実績)	H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
療育支援会議(年間回数) [児童発達支援センター]	24	24	21	24	24	療育支援方針(年間件数) [児童発達支援センター]	264	385	227		
検討会回数 [健康増進課]		6	9	12	12	関係課との連携強化 [健康増進課]					
三者協議開催回数[教育総務課]	32	32	32	32	34						

R2年度の現状・課題・取り組み	改善策・次年度の取り組み
<p>子どもや家庭の複雑多岐にわたる相談に対応できるよう県等が主催する検討会に積極的に参加し、スキルアップを図ると共に、心理セサメントや心理的側面からのケアが実施できるよう心理士を配置しています。[子ども家庭課]</p> <p>新型コロナウイルス感染症により療育支援会議を4・5月の3回は中止したものの、6月以降においては、感染症対策を講じながら会議を実施しました。会議では、関係機関の委員の参加が得られ、各機関と情報を共有しながら児童の発達状態等について確認・検討し、支援方針の決定を図りました。[児童発達支援センター]</p> <p>必要に応じ、ケース会議に参加しました。子ども家庭課との検討会は、コロナの感染予防のため、実施できない月がありました。[健康増進課]</p> <p>公立保育所所長会議や民間保育所協議会等において情報共有を図りました。[保育課]</p> <p>学童クラブ運営法人連絡協議会を年6回程度開催しました。 学童クラブに関する三者協議、小学校区ごとに年2回開催しました。[教育総務課]</p>	<p>引き続き、専門性向上のための研修に積極的に参加すると共に、複雑多岐にわたる相談に迅速かつ的確に対応できるよう、担当職員の適正配置について検討していきます。[子ども家庭課]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら各委員に協力を得て療育支援会議を開催し、児童の発達により良い支援方針の決定に努めます。[児童発達支援センター]</p> <p>必要な時に必要な機関と連携が取れるように、日頃から連携が取れる体制づくりの構築に努めます。[健康増進課]</p> <p>引き続き公立保育所所長会議や民間保育所協議会等において情報共有をはかり、保育における課題を共通認識できるようにします。[保育課]</p> <p>学童クラブ運営法人連絡協議会や学童クラブに関する三者協議を引き続き実施する他、情報を各課と共有し、緊急時に速やかな対応ができるよう連携強化に努めます。[教育総務課]</p>

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和2年度評価
7	相談担当職員の充実及び適正配置(子ども家庭課・児童発達支援センター・健康増進課・保育課)	<p>[子ども家庭課]相談担当職員のスキルアップを図るため、研修会等に積極的に参加していきます。また、担当職員の適正配置についても相談件数の増加を加味し、検討していきます。</p> <p>[児童発達支援センター]医師などの専門家による療育相談を行い、相談支援専門職員によりサービス利用計画等を作成し、事業を実施していきます。</p> <p>[健康増進課]保護者の子育て相談に的確に対応できるよう、相談担当職員(常勤職員だけでなく、非常勤職員も含め)の知識・能力の向上を図るとともに、職員の適正配置に努めます。</p> <p>[保育課]保護者に的確なアドバイス等をするには、幅広い知識の取得が必要のため、研修等を活用し保育士の資質向上に努めます。</p>	A・B・C・D

主な活動指標(事業実績)	H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
相談支援従事者初任者研修修了者数 [児童発達支援センター]	0	0	0	1	2						
養育支援家庭訪問事業等研修会開催数 [健康増進課]	1	1	0	1	1	養育支援家庭訪問事業等研修会参加人数 [健康増進課]	34	31	0		

R2年度の現状・課題・取り組み	改善策・次年度の取り組み
<p>子どもや家庭の複雑多岐にわたる相談に対応できるよう県等が主催する検討会に積極的に参加し、スキルアップを図ると共に、心理セサメントや心理的側面からのケアが実施できるよう心理士を配置しています。[子ども家庭課]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により研修会がほぼ中止となり、予定していた研修には受講できませんでしたが、職員による内部研修を実施し相談担当職員の資質向上に努めました。[児童発達支援センター]</p> <p>各事業終了後にカンファレンスを行い、情報共有と対象者の支援検討を行いました。 令和2年度は、コロナの影響で開催していませんが、職員及び非常勤職員等を対象とした子育て支援に関する研修会を企画し開催しています。 転入数の増加や、出生数の増加等により、相談件数が増加しているとともに、保護者からの相談内容も多様となっていることから、様々な相談内容に対応できるスキルが必要となってきました。[健康増進課]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で各種研修会が中止となり参加することができませんでした。[保育課]</p>	<p>引き続き、専門性向上のための研修に積極的に参加すると共に、複雑多岐にわたる相談に迅速かつ的確に対応できるよう、担当職員の適正配置について検討していきます。[子ども家庭課]</p> <p>相談支援従事者初任者研修に対象職員が参加し、資格を得て障害児相談支援事業の業務に当たることができるよう図ります。[児童発達支援センター]</p> <p>今後も引き続き、各事業終了後にカンファレンスを行い、情報共有と対象者の支援検討を行うとともに、研修会などを開催し、相談担当職員のスキル向上を目指します。[健康増進課]</p> <p>保育所以外の会場を設定する等、研修を受ける環境の向上に取り組みます。 リモートによる研修等を積極的に取り入れ、保育士の資質向上に努めます。[保育課]</p>

(2)地域における子育て支援サービスの充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
8	保育所 (子ども家庭課・保育課)	待機児童数ゼロを達成するため、認可保育所等を整備します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
認可保育所整備数(定員数(3.31時点))		5,697	6,424	7,406	7,930	8,470	待機児童数 翌年度4月1日時点(人)		42	26	0	0	0
認可保育所等施設数(3.31時点)		71	77	91									
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
認可保育所及び小規模保育事業所の施設整備に加えて、保護者のニーズに合った入所案内に努めた結果、令和3年4月1日現在での国基準の待機児童数がゼロとなりました。							コロナ禍における保育所入所ニーズを勘案しながら、引き続き認可保育所及び小規模保育事業所の施設整備に加えて、保護者のニーズに合った入所案内に努めていきます。						
9	送迎保育ステーション (保育課)	送迎保育ステーションを利用し、市内の保育所まで送迎することにより、待機児童の解消や保育所利用者の利便性の向上を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)		2	2	2	2	2	延べ利用数(人)		49,291	45,876	12,236	50,000	20,000
送迎バスの台数		7	8	8	8	8	待機児童数 翌年度4月1日時点(人)		42	26	0	0	0
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
保育園の開設やコロナの影響で利用人数は減少しましたが、引き続き当事業の需要が見込まれることから、安全な移送の確保と保護者の送迎に係る負担軽減が課題となります。新型コロナウイルス感染症対策及び速やかな送迎を行うため、ルートの見直しを行いました。							引き続き感染症対策を徹底して行い、安心・安全な送迎を実施します。昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。						
10	地域子育て支援センター (子ども家庭課)	職員の資質向上を図り、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供など、子育て世帯へのサポートを充実していきます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
子育て支援センター数		15	15	14	16	16	利用者数		57,887	53,336	32,511	57,887	57,824
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
子育て支援センターの見直し等を行い、令和2年度は3支援センターが廃止となりました。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、フロア開放の中止、利用時間短縮、人数制限を行ったため、利用者数は減少しました。しかし、子育て支援センター独自に、公園出張を行うなど、新たな取り組みを構築し、子育て世帯へのサポートを行いました。							令和2年度に、引き続き、感染症拡大防止のため、フロア開放の時間や人数の制限を行いながらも、公園出張などの取り組みを行い、子育て世帯へのサポートを充実していきます。また、子育て支援センター研修会を実施し、子育て支援センターの職員の質の向上に努めます。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
11	保育所の多機能化(保育課)	身近な場所で子育てに関する相談や育児講座、子育て中の親の交流などを行う拠点として、園開放の実施等、保育所等の多機能化を推進します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症により園開放を実施することはできませんでした。第3者の保育所への立ち入りを制限していたことから再開は厳しい状況です。							新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、人数を制限をするなどして実施することが可能かどうかを検討していきます。							
12	幼保一元化(子ども家庭課・保育課・指導課)	【子ども家庭課・保育課】教育と保育の両方のニーズに対応できるよう、今後も認定こども園の整備を進めます。 【指導課】幼児教育支援センターにおいて、今後も国の動向を見ながら、幼保小関連教育の研究を進めています。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
保幼小関連教育研究会開催回数		4	4	2	3	3	保幼小関連教育研究会参加延べ人数		262	302	149	210	210	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
年間3回予定していた保幼小関連教育研究会が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回の実施となった。「幼児教育を小学校教育につなぐ」をテーマに接続期のカリキュラム作成に向けた研究を実施し、「接続期の内容」について充実を図ることができました。							保幼小の接続期のカリキュラム作成を中心に、「接続期の取り組み」について、研究内容の深化を目指します。							
13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業(子ども家庭課・保育課)	【子ども家庭課・保育課】特定教育・保育施設等への民間事業者の参入、多様な事業者の能力を活用した設置・運営を促します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
民間事業者による認可保育所整備数		2	4	9										
民間事業者による小規模保育事業所整備数		2	2	2										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
幅広く保育事業者の参入を促すため、認可保育所の整備にあたり新たに公募制を採用しました。また、国の補助金制度を活用し保育施設の整備費に対する補助を行うことにより、多くの事業者が参入できる環境づくりを行いました。							公募制による保育施設の整備を引き続き実施いたします。令和3年4月に待機児童ゼロを達成し、今後保育施設の整備数は減少傾向となることから、状況を注視しながら多様な事業者が参入できる環境づくりを行います。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
14	児童館・児童センター(子ども家庭課)	おおたかの森地域及び南流山地域において、児童センターを新たに整備します。市内児童館・児童センターにおいて、地域の子育て活動の拠点施設となるような保護者・乳幼児の子育てをサポートするための事業を実施します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
おおたかの森児童センター整備工事進捗率(%)		-	-	100	100	-	市内7施設利用者アンケート(%) 「施設を利用することで子育てを支えられていると感じる:あてはまる・だいたいあてはまる,平均		-	98.1	98.6			
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)		-	-	1	16.7	66.7								
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み								
既存児童館・児童センターでは、スタッフ、利用者における手指消毒や検温、施設内換気を徹底し、安心、安全な施設利用が出来るよう運営しました。おおたかの森児童センターをおおたかの森西二丁目地先のつくばエクスプレス高架下に開設しました。(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備の工事では、工事敷地内の地中障害物撤去に伴い、本体工事の工事進捗に遅れが生じました。当該工事では、学校活動や近隣住民の方々の生活に支障が生じないよう、あるいは最小限に留められるよう最大限配慮する必要があります。						おおたかの森移動センターを含む既存児童館・児童センターでは、引き続き、幼児のグループ活動によるお友達作りをサポートや子育ての相談に取り組み、学童には、ボールあそびや卓球、大型ブロック、マンカラ、カードゲーム、読書など多様な遊びの場を提供していきます。(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備では、躯体工事の着手が予定されており、令和4年度開設に向け工事を進めていきます。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
15	学童クラブ施設(教育総務課)	放課後の留守家庭の児童の健全な育成を図るため、学童クラブの充実を図ります。学童需要が大幅に増加する中で、安全な育成支援が提供できる環境を整備していきます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
整備後の定員数(人)		2,220	2,540	3,080	3,160	3,240	待機児童数(3月末)(人)		4	6	0	0	0	
整備後の施設数(施設)		30	33	36	36	37								
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み								
令和2年度においては、元年度から整備を行っている八木北小学校区、おおぐろの森小学校区のほか、南流山小学校区の整備を行いました。今回、整備をした小学校区においては、定員の増加により高学年も含め、入所希望者全員を受け入れることができました。なお、小山小学校区におけるえどがわ学童クラブ(民設民営、定員80名)の撤退により、実績が目標を下回りました。						令和3年度においては、(仮称)小山小学校区第5学童クラブの整備を行います。今後も、児童推計を踏まえた、計画的な施設の整備を行う必要があります。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
16	夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業(公民館)	学校の夏休み期間、保護者が就労等で家を留守にする家庭の小学生に対して、学校施設の一部を使用し、夏休みの子どもの居場所として提供します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み								
新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止となりました。						新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策を行いつつ、学校の夏休み期間、保護者が就労等で家を留守にする家庭で学童に通っていない小学生に対して、学校施設の一部を使用し夏休みの子どもの居場所として、可能な限り実施します。								

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
17	療育施設 (児童発達支援センター)	障害のある児童の自立支援のため、児童発達支援センターの充実を図ります。										A (B) C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
つばさ学園 実人数		31	36	36	36	37	つばさ学園 延べ利用人数			6,102	6,734	2,878	6,566	3,960
児童デイつばさ 実人数		41	52	53	53	54	児童デイつばさ 延べ利用人数			2,308	2,965	1,395	3,456	1,848
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
発達支援計画書及び個別支援計画書に基づき園児の支援に努めました。新型コロナウイルス感染症のため例年実施してきた保護者への説明会、学習会等の開催中止を余儀なくされました。新型コロナウイルス感染症対策として分散登園を実施するとともに、保護者に家庭内の状況確認の電話連絡や「家庭での取り組み」についての情報提供等を行い保護者支援を図りました。							引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら園児の健康を第一に支援を行っていきます。また感染状況をみながら保護者への説明会、学習会等を企画し、支援の充実を図っていきます。							
18	市主催事業における託児サービス(公民館・子ども家庭課)	【公民館】安全な託児を心がけ、子育て中の保護者が安心して講座へ参加できるよう努めます。 【子ども家庭課】乳幼児がいる親が、各種講座等、市の主催する事業へ参加できるよう、開催場所において、一時保育等の託児サービスを推進します。										A (B) C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
保育ボランティア派遣件数【子ども家庭課】		26	15	7										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
保育ボランティアの派遣を通して、市の主催事業への参加を支援しました。【子ども家庭課】 新型コロナウイルス感染症の影響のため、講座の開催が減少したこともあり、利用者がありませんでした。【公民館】							引き続き、市の主催する各種講座に、どなたでも参加しやすくするように、開催場所において、一時保育等の託児サービスを推進します。【子ども家庭課】 引き続き安全な託児を心がけ、子育て中の保護者が安心して講座への参加が出来るように努めます。【公民館】							
19	赤ちゃんほっとスペース(子ども家庭課)	安心して赤ちゃんと外出できるよう、オムツ替えや授乳等が気軽にできる場所(施設)を提供するため、保育所や児童館・児童センターなどの公共施設を中心に「赤ちゃんほっとスペース」を設置します。また、「赤ちゃんほっとスペース」以外の施設でも子ども連れの親に配慮した施設整備を進めます。										A (B) C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
赤ちゃんほっとスペース設置数		61	62	64										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
新たな赤ちゃんほっとスペースとして、おおたかの森地区に2箇所登録しました。ほかに、新規に開設する認可保育所等への設置を進めていますが、不特定の方が施設に出入りすることについて懸念がある旨の声をもらう場面がありました。							外出する親子にやさしい街となるよう引き続き、新たな赤ちゃんほっとスペースの開設を進めていきます。							
(3)子育て支援のネットワークづくり														
20	ファミリー・サポート・センター(子ども家庭課)	仕事と育児の両立のため、育児を必要とする市民が育児を提供できる市民から、子育て支援を受けられるファミリー・サポート・センター事業を推進します。										A (B) C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
提供会員数及び両方会員数		549	601	625			マッチング件数			183	212	242		
活動状況数		6,915	7,695	4,643	7,081	7,164								
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少しましたが、マッチング件数は増加しています。また、活動説明会も中止となっておりますが、提供会員数及び両方会員数は微増しています。							引き続き、子育て支援の充実を図るために、提供会員数の確保に努めます。また、新たに、LINEを活用して、ファミリー・サポート・センター事業の周知を図ります。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価			
21	子育てグループの支援(子ども家庭課)	地域子育て支援センターや児童館、児童センターなどを活用し、乳幼児グループの活動を支援し、親同士の交流を促進します。また、子育て支援に関心のある方々のネットワークづくりを支援します。										A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標				H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
幼児グループの参加人数		8,777	6,032	4,906											
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み								
地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループの活動をサポートし、親同士の交流を深めることができました。							今後も、乳幼児グループの活動を支援し、親同士の交流を促進します。また、子育て支援に関心のある方々のネットワークづくりを支援します。								

(4)経済的支援の充実

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価			
22	児童扶養手当(子ども家庭課)	父母の離婚等により、父又は母と生計を同じくしていない18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進するため、当該家庭等の方に支給します。										A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標				H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
児童扶養手当支給事業(受給件数)		698	712	689											
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み								
離婚、死亡等により、父又は母と生計が同じでない18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育している方の生活の安定と自立を促進するため、当該家庭に児童扶養手当を支給しました。							引き続き手当の支給を行います。								

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価			
23	児童手当(子ども家庭課)	家庭生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校3年生までの児童を養育している方に支給します。										A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標				H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
児童手当支給事業(受給件数)		328,180	340,640	354,819											
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み								
家庭生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校3年生までの児童を養育している方に児童手当を支給しました。							引き続き手当の支給を行います。								

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
24	特別児童扶養手当(障害者支援課)	20歳未満の心身に障害のある児童を監護している親、あるいは養育者に支給します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
受給者人数(人)		265	283	287	275	280	対象となる方に必要な案内が出来、支給に結び付けた						
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
市広報、ホームページ、子育てガイドブック及び障害福祉の案内に情報を掲載し、周知を行いました。							引き続き、市広報、ホームページ、子育てガイドブック及び障害福祉の案内に情報を掲載し、必要な方に必要な案内ができるよう周知を行って参ります。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
25	障害児福祉手当(障害者支援課)	20歳未満で心身に重度の障害があり、障害の程度が基準を満たす児童に支給します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
延べ支給人数(人)		792	882	917	1,080	1,080	対象となる方に必要な案内が出来、支給に結び付けた						
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
市広報、ホームページ、子育てガイドブック及び障害福祉の案内に情報を掲載し、周知を行いました。							引き続き、市広報、ホームページ、子育てガイドブック及び障害福祉の案内に情報を掲載し、必要な方に必要な案内ができるよう周知を行って参ります。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
26	子ども医療費の助成(子ども家庭課)	中学校3年生までの子どもが病気などで保険診療を受けた場合、その医療費の一部を助成します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
子ども医療費助成事業(受給件数)		451,056	467,709	347,843									
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
中学校3年生までの子どもが病気などで保険診療を受けた場合、その医療費の一部を助成しました。							今後も中学生までの通院・入院に対する医療費の助成を継続します。						
27	未熟児養育医療の給付(子ども家庭課・健康増進課)	【子ども家庭課】【健康増進課】乳児及び保護者の保健衛生の向上を図るため、入院養育が必要な未熟児に対して医療給付を行います。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
未熟児養育医療給付事業(受給件数)【子ども家庭課】		136	150	158									
給付申請受付数【健康増進課】			35	50									
受給者のフォロー訪問率%【健康増進課】			100	100	100	100							
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
乳児及び保護者の保健衛生の向上を図るため、入院養育が必要な未熟児に対して医療給付を行いました。【子ども家庭課】							引き続き事業を実施し、未熟児及びその家庭を支援します。【子ども家庭課】						
保健センターに問い合わせがあった方については、申請手続きについて丁寧に案内するとともに、申請来庁時に地区担当保健師等が話を伺い、その後の訪問指導を継続して行っています。【健康増進課】							引き続き、両課で情報共有を行いながら適切な支援に努めます。【健康増進課】						
28	ひとり親家庭等の医療費の助成(子ども家庭課)	18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育する母子、父子家庭等及びその児童が、医療費の保険給付を受けた場合、その自己負担額の一部を助成します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
ひとり親家庭等医療費助成事業(受給件数)		10,623	10,729	11,538									
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育する母子、父子家庭等及びその児童が、医療費の保険給付を受けた場合、その自己負担額の一部を助成しました。令和2年11月からは、本事業の現物給付化を行いました。							今後も本事業を継続して実施します。						
29	保育所保育料負担の適正化(保育課)	保護者等が適正な負担となるよう、低所得世帯等に配慮した、保育料の適正化を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
安定的な保育所運営を行うために、適正な保育料決定をしたほか、コロナによる登園自粛要請に対応し保育料の減免を行いました。							国基準よりも細かい保育料の区分を設定し、低所得世帯等に配慮した保育料決定を継続して行います。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
30	実費徴収に係る補足給付を行う事業(子ども家庭課・保育課)	[子ども家庭課][保育課]各施設事業者において実費徴収ができることとされている食事の提供に要する費用について、低所得世帯を対象に、費用の一部を助成します。										A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
年収360万円未満相当の世帯及び第3子以降の子供たちについて、保育所において実費徴収される給食費を免除しました。また、幼稚園の給食費の副食費についても月額4,500円を限度に補助を行いました。【保育課】							引き続き左記対象者に対し助成を行います。【保育課】							
31	特別支援教育就学奨励費補助(学校教育課)	特別支援学級へ就学する児童・生徒の保護者(申請に係る世帯の所得状況に応じて支給制限あり)の経済的負担を軽減するため、特別支援学級への就学のために必要な経費の一部を助成します。										A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
							認定者数(人)		190	211	237			
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
特別支援学級在籍の経済的困窮世帯の児童・生徒が、安心して学校生活を送るため必要な家庭へ適正に就学奨励費を支給する。							引き続き必要な家庭へ就学奨励費を支給する。							
32	就学援助・奨学金(学校教育課)	経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者への援助を行います。										A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
広報ながれやま掲載数(年何回)		3	3	3			認定者数(人)		996	957	968			
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
経済的困窮世帯の児童・生徒が、安心して学校生活を送るため必要な家庭へ適正に就学援助を行う。新型コロナウイルス感染症に伴い、収入減が生じた家庭へは、特別な基準で認定判断を行う。							社会情勢を把握し、必要な就学援助を行う。個別の家庭事情から認定判断を行う。							
33	入学準備金の貸付(教育総務課)	高等学校に入学を希望する保護者に対して、無利子で貸付します。今後も入学準備金の貸付について、市のホームページや広報紙により情報提供に努めるとともに、入学準備金の調達が困難な保護者に対し、教育の機会均等を図ります。										A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
入学準備金に関する相談件数		2	10	10			入学準備金の申請数		1	1	2			
							入学準備金の貸付実施数		1	0	1			
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
市のホームページや広報紙での周知を図るとともに、市内全中学校にパンフレットを配布し、制度の周知に努めました。令和2年度は2件の申請があり、うち1件は申請者より辞退の申し出があったため、1件の貸付を実施しました。							今後も高等学校に入学を希望する生徒の保護者に対して、無利子で貸付けを行います。市のホームページや広報紙により情報提供に努め、入学準備金の調達が困難な家庭の生徒への教育の機会均等を図ります。							

基本目標2 子どもと保護者の健康づくり													
(1)子どもや保護者の健康の確保													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
34	妊娠・出産・子育てサポート事業 (健康増進課)	子育て世代の流入に伴い、転入者や初妊婦も増えることが見込まれることから、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、母子健康手帳交付時に「コウノトリプラン」を作成し、必要支援につなげる。出産後、心身の不調や育児不安のある母子に対し、「産後ケア」を紹介していきます。子育てでなくても相談室(子育て世代包括支援センター)を中心に、子ども家庭課をはじめ関係機関・団体と連携し、子育てについてのサポートをしていきます。									A B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
妊婦面談率(%)		49.8	98.6	99.9	100	100	この地域で今後も子育てをしたい者の割合(%)		95.8	95.3	96.3	96.5	96.5
乳児家庭全戸訪問実施率(%)		93.7	94.4	95.5	100	100	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		81.9	81.4	78	88	88
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
母子健康手帳の交付を保健センター、おおたかの森市民窓口センター、南流山センターの3か所に限定することで、ほぼ全ての方に対し妊婦面談時に「コウノトリプラン」を作成し、必要な支援につなげることができました。コロナウイルス感染症の拡がりに伴い、里帰りが増えたり、サポートが得られない等、孤独を抱える妊婦が増えたため、産後ケアや育児支援等サービス助成事業の利用、面談・電話・訪問を通じ、きめ細かなサポートを行いました。						令和3年度からは、「産前産後サポート事業」を加え、多胎児を妊娠しているママとそのパートナーを対象に妊娠時からの情報提供を始め、多胎児育児経験者との交流をすることにより、負担感や孤立感の解消を図ります。また、支援者のいない妊婦を対象に仲間づくりや、不安解消を目的としたグループの開催を市内の助産院に委託し、実施します。令和4年度の南流山センターの子育て世代包括支援センターの開設に向け、準備を進めていきます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
35	母子健康教育 (健康増進課)	妊産婦、乳幼児の健康の保持増進のための育児技術や生活習慣などが身につけられるよう支援を行います。転入世帯が増え、参加者数の増加やパートナー参加のニーズがみられているため、実施方法について検討し、市民が受講しやすい体制を整え、地域交流のきっかけの場を担えるような内容などを検討していきます。また、関係機関との連携を強化しながら、支援を進めていきます。									A B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
ハローベビー開催回数		36	33	31	36	50	ハローベビー参加者数		1,181	1,057	544	1,000	1,000
むし歯予防教室開催回数		36	33	26	36	42	むし歯予防教室参加者数		1,946	1,637	786	1,700	1,700
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言の発令期間中の事業は中止しましたが、コロナ禍で子育てに不安を抱える方には各種専門職が個別に対応しました。また、事業再開時には、感染症対策を行い、安心安全に受講できるよう人数の制限、事業内容を変更し、実施しました。						今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、事業を実施します。また、安心して子育てできるよう、各種専門職が保護者に寄り添い、支援していきます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
36	乳幼児健康診査 (健康増進課)	乳幼児健康診査の充実を図ったことで、疾病や発達障害の早期発見予防といった丁寧な健康診査に努め、子育て中の保護者の孤立化を防ぎます。また、マイナンバーを活用した他市町村との情報連携を行い、未受診者を把握することで、虐待の予防、早期発見に繋がります。 (参考)乳幼児健康診査(3～6か月児、9～11か月児)、3か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査									A B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
妊婦一般健診受診率(%)		104	99	101	100	100	1歳6か月児、3歳児健診受診率(%)		97.2	97.4	95.4	97.8	98
3か月児、1歳6か月児、3歳児健診問診票発送数(通)		6,448	6,287	6,752	6,900	7,100	3か月児健診受診率(%)		96.1	95.7	99.4	96.5	99
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症拡大を予防し、適切な対象月齢で安心安全に1歳6か月児・3歳児健康診査を受けられるよう、保健センターで行っていた集団健診から、市内協力医療機関で受診する個別健診を含めた内容に変更しました。3歳児健康診査においては、新規検査項目のスポットビジョンスクリーナーを用いた眼の屈折検査を導入しました。感染予防に備えて、健診方法を早急に変更し、適切な対象月齢で安心安全に実施することができましたが、受診率の低下が見られるため、未受診者への受診勧奨及び訪問を行い、コロナ禍ではありますが、引き続き受診率向上及び全数把握に努めます。						令和3年度についても引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大を予防し、適切な対象月齢で安心安全に1歳6か月児・3歳児健康診査を受けられるよう、健診方法を検討し、実施していきます。また、未受診者への受診勧奨の方法を再検討し、通知内容や訪問時期についても改善することで、引き続き受診率向上及び全数把握に努めます。なお、今年度から新生児聴覚検査の補助を実施します。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
37	母子健康相談 (健康増進課)	保護者の育児不安の軽減を図り、子供が健やかに育つよう、育児や栄養、歯科等の相談について専門職がいつでも気軽に相談できる体制づくりに努めます。 ・育児相談、健康相談										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
来所者数(延べ数)		1,395	1,342	396			相談件数(延べ数)		1,809	1,808	583		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
保健センター、南流山センター、東部公民館、向小金福祉会館にて、年間28回育児相談事業を実施しました。また新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえ、育児に関する相談や助言を希望する保護者が安心して相談できるよう予約制とし、感染症拡大防止に努めました。							令和3年度よりフォローアップ相談へと改称します。引き続き、予約制として感染症拡大防止策をとりながら、保護者の育児不安が軽減するよう努めます。また、新たにすくすく相談事業を開始し、保健センターに乳幼児用の身長・体重計を常設することで、保護者の多様なニーズに応えることができるようにします。						
38	母子訪問指導 (健康増進課)	訪問指導によって、妊娠・出産・育児の不安解消を図り、健康の保持、増進に努めます。今後も、他事業や関連機関との連携強化を行い、早期に支援へつなげる体制づくりを行います。また、対象者の増加が予想されることから、訪問従事者の確保に努めます。 ・妊産婦、新生児訪問指導 ・乳幼児訪問指導										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
乳幼児家庭全戸訪問実数		2,012	2,062	1,978			乳幼児家庭全戸訪問実施率(%)		93.7	94.4	95.5	100	100
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
対象者は出生届から抽出し、長期入院や長期帰りの理由以外は全数訪問を実施し実施率は増加しました。妊娠出産子育てサポート事業との連携により事前に対象家庭の状況や予測される問題などの情報があることで、早期に必要な支援へ繋ぐことが出来ました。							引き続き、妊娠出産子育てサポート事業との連携により事前に対象家庭の状況や予測される問題などの情報を得て、早期に必要な支援に繋がります。						
39	健診後のフォロー体制づくり (健康増進課)	発達等、心配のある乳幼児への専門的アドバイスと適切な対応を図ります。今後も各乳幼児健康診査・おやこ相談・幼児グループ等の場でも関係職種と情報共有し、支援を要する対象児に対し、適切な時期に支援を行います。 ・発達・健康・心理相談 ・幼児グループ指導 ・乳幼児ケース検討										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
幼児グループ実施回数		22	22	12	22	22	幼児グループ参加人数		305	343	118	118	
おやこ相談利用者数		503	524	524			おやこ相談実施回数		108	195	128	132	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
令和2年度途中から、新型コロナウイルス感染症予防のため、保健センターで行っていた集団健診から、市内協力医療機関で受診する個別健診を含めた内容に実施方法が変更となりましたが、引き続き適切に健診後フォローが行えるような体制を構築しました。また、幼児グループについては、新型コロナウイルス感染症のため中止となる期間が発生しました。							引き続き各フォローの際には、関係職種や必要に応じて関係機関とも連携をとりながら、支援を必要とする児童に対して、適切な時期に支援を行っていきます。おやこ相談については、ニーズの高まりがみられ、キャンセル待ちの状況が生じているため、相談枠の増枠を図り対応します。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
40	予防接種 (健康増進課)	予防接種による疾病予防の啓発普及に努めるとともに、接種率の向上に努めます。令和元年度から3年間、風しんの抗体検査・第5期定期接種を実施します。定期接種対象外の年齢の方で、妊娠を希望する女性や、その配偶者を対象に風しんの予防接種費用の助成を実施します。今後も国の動向や感染症の流行状況をみながら、事業を継続していきます。										A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
麻しん風しん1期予防接種個別勧奨通知		1/年	1/年	1/年			接種率(A類:麻しん風しん1期)(%)		99.2	94.4	99.8	95.0	95.0	
麻しん風しん2期予防接種個別勧奨通知		2/年	2/年	2/年			接種率(A類:麻しん風しん2期)(%)		97.6	97.4	97.7	95.0	95.0	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
予防接種法の改正に伴い、令和2年10月1日よりロタウイルスワクチンの定期予防接種が開始となり、接種率の向上および適切な接種ができるよう市民周知を行いました。また、市内で予防接種を受けることができない事情のある子どもが県外で接種をする際、医療機関と契約を行い接種を実施していましたが、契約に時間がかかったり、契約に至らないこともあり、簡易かつ迅速に定期接種ができるように償還払いの制度を構築しました。							令和3年度は風しん等第5期定期接種事業の時限措置が最後の年になります。引き続き、未受診者への新規クーポン券の発行や、転入者への通知を行います。風しん抗体検査を含めた、定期接種の安全で適切な実施に努め、新型コロナウイルス感染症の状況に関わらず、予防接種は不要不急にあたらないという周知を含め、対象者への周知と接種率の向上を図ります。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供 (子ども家庭課・健康増進課)	【子ども家庭課】産後、親族等の支援が難しい方等を中心に利用できるサービスの情報提供を行うとともに、利用者の適切な支援計画を作成し、安心して産後の生活ができるよう支援します。 【健康増進課】養育支援が特に必要な家庭に対し、専門職等による訪問を実施し、養育に関する指導・助言・必要なサービスの情報提供等を行うことで、保護者等が適切な養育を行えるよう支援していきます。今後は支援体制の見直しを関係機関とを行い、事業の充実を図ります。										A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
養育支援訪問実数【健康増進課】		15	19	8			ヘルパーサービス利用実数【健康増進課】		1	3	0			
養育支援訪問延数【健康増進課】		28	40	35			ヘルパーサービス利用延べ数【健康増進課】		12	17	0			
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ヘルパー希望家庭への導入が困難になったケースがありましたが、必要性が高い家庭には、養育支援訪問事業について情報提供を行い、利用について検討しました。【子ども家庭課】 乳児家庭全戸訪問の結果や健診等で把握した支援が必要な家庭について、健康増進課内で検討を行い、必要な家庭に養育支援家庭訪問を実施しています。 また、関係部署と連携が必要な場合は、随時情報共有し評価しながら対応や役割を明確にして対応しています。 乳幼児の人口増加に伴い、支援が必要な家庭も増加傾向にあるが、養育支援家庭訪問だけでなく他のサービスや支援につなげることもあり、養育支援訪問実施の実数は減少しています。【健康増進課】							関係機関と連携し、支援の必要性が高い家庭に適切にサービス提供が行えるよう情報提供を行うとともに、利用希望者には適切な支援経過を作成し、安心して子育てができるよう支援します。【子ども家庭課】 課内や関係部署との検討会を活用し、個々のケースの支援検討だけでなく、支援体制の整備や連携強化についても引き続き検討していきます。【健康増進課】							

(2) 食育の推進

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
42	食に関する講座・体験学習 (公民館・健康増進課・保育課)	【公民館】地元で作られる野菜などの食材を活かした食育体験等、地場産業の振興と健康づくりを兼ねた講座の展開に努めます。 【健康増進課】今後も引き続き、生涯にわたり健康の維持増進のための適切な食生活の習慣や技術が身につけられるよう支援を行います。 ・親子の食生活共同体験学習の開催 ・親子の食セミナーの開催 ・親子クッキング、給食参観 ・健康づくり推進員の活動の支援 など 【保育課】地元で作られる食材を活かした食育体験や保育参観を通じて、保護者に給食を体験する機会を設けます。										A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
ハローベビー(調理実習等)実施回数【健康増進課】		12	11	5			ハローベビー(調理実習等)参加人数【健康増進課】		110	173	68			
親子クッキング実施回数【健康増進課】		1	1	0			親子クッキング参加人数【健康増進課】		27	17	0			
保育所給食参観件数【保育課】				0	0	0	保育所給食参観参加人数【保育課】				0	0	0	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症の影響により、食育体験の実施が出来ず、座学による親子食育講座を開催したが参加者がいませんでした。【公民館】 新型コロナウイルス感染症対策のため親子クッキングは中止とし、両親学級は事業内容を変更し実施しました。【健康増進課】 令和2年度は新型コロナウイルスの影響があり、給食参観を開催しませんでした。【保育課】							新型コロナウイルス感染症の影響を見つ、可能な限り感染症対策を行い地元で作られる野菜などの食材を生かした食育体験等講座の展開に努めます。【公民館】 令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の予防に努めながら、健康づくりのための適切な食生活の習慣や技術が身につけられるよう支援していきます。【健康増進課】 令和3年度も新型コロナウイルスの影響のため、給食参観を行わない予定です。新型コロナウイルスの状況をみて、検討していきます。【保育課】							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
43	食育指導・情報提供 (健康増進課・学校教育課・保育課)	【健康増進課】関係機関と連携し、保育所、学校など様々な場や機会を通して、子どもが望ましい食習慣を身につけ、心身の健やかな発達ができるよう、食に関する教育を推進します。また、食に関する教育や情報の提供について、保健センター、保育所、学校等関係機関の連携を強化し、総合的な取組が行えるよう総合的な体制づくりと事業の推進を行います 【学校教育課】子どもが望ましい食習慣を身につけ、心身の健やかな発達ができるよう、食に関する教育を推進します。また、食に関する教育や情報の提供について、保健センター、保育所、学校等関係機関の連携を強化し、総合的な取組を推進します。 【保育課】地産地消の観点から、地元の野菜を増やし、食育の推進を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
食育推進会議【健康増進課】		3回/年	3回/年	2回/年	3回/年	3回/年	出席率(%)【健康増進課】			100	80	100	100
食育パネル展示【健康増進課】		3会場	3会場	3会場			関係課との連携強化【健康増進課】						
食に関する指導計画の作成(校) 【学校教育課】				22	25	26							
地元の野菜数(米を含む) 【保育課】		3	3	4	4	5	地元の野菜を使用した献立の回数 【保育課】		188		298		320
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
関係機関と連携し、食育のパネル展示等により食育を推進しています。さらなる周知の拡大が課題となっています。【健康増進課】 各学校において、献立表の作成及び給食だよりを配布したほか、ホームページに掲載するなど、保護者への学校給食に関する情報提供を実施しました。【学校教育課】 R2年度より、給食で使用する流山産の野菜の種類を増やし、地元の農家の紹介を各園で行うことで、食育の推進を行いました。【保育課】							令和3年度も引き続き、関係機関と連携し、食に関する教育を推進していきます。より多くの市民に食育に関心をもってもらえるよう、情報提供の方法や周知について検討していきます。【健康増進課】 各関係機関との連携を密に行い、今後も総合的な取組を推進します。【学校教育課】 流山産の野菜の種類や納品回数をさらに増やし、地産地消と食育に活かしていきます。【保育課】						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
44	乳幼児の食生活指導 (健康増進課)	乳幼児が適切な食習慣を身につけるとともに、むし歯を予防するため、保護者を対象にして、離乳食の進め方や、調理実習、歯磨きの指導などを行い、生涯にわたる健康な身体のための正しい情報提供を行います。 ・もぐもぐ教室(離乳食初期) ・カムカムキッズ(離乳食後期) ・むし歯予防教室 ・乳幼児健診の場を通じた情報提供										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
もぐもぐ教室(離乳食初期)実施回数		25	25	20			もぐもぐ教室(離乳食初期)参加人数		1,642	1,432	603		
カムカムキッズ(離乳食後期)実施回数		22	22	15			カムカムキッズ(離乳食後期)参加人数		870	837	297		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
新型コロナウイルス感染症予防のため、実施方法を変更し乳幼児が適切な食習慣を身につけるための情報提供を行いました。受講者の意見を参考にニーズに応じた内容にまいります。							令和3年度も引き続き、離乳食教室を通して、乳幼児が適切な食習慣を身につけ、生涯にわたる健康な身体のための情報提供を行っていきます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
45	栄養相談・栄養指導 (健康増進課・保育課)	【健康増進課】今後も各事業を通し、乳幼児健診や乳幼児相談において、栄養士による相談及び乳幼児の家庭での食事を通した生涯にわたる健康づくりの支援を行います。 【保育課】アレルギー等の乳幼児に対し、個別相談を行い、適切な給食を提供するなど、事業の継続に努めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
各種乳幼児健診(1歳6か月児健診、3歳児健診)、フォローアップ相談実施回数 【健康増進課】		80	91	84			各種乳幼児健診(1歳6か月児健診、3歳児健診)、フォローアップ相談栄養相談数 【健康増進課】		3,306	2,825	2,620		
個別相談人数 【保育課】			5	13		25	適切な給食の提供 【保育課】		100%	100%	100%	100%	100%
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
健診事業、相談事業を通し、個別相談を行っております。今後も常に正しい情報収集を行い、相談者に適切な支援をしていきます。【健康増進課】 既に相談済みの児童に対しても、再度個別相談を行うことで、適切な給食の提供ができるようになりました。【保育課】							令和3年度も引き続き、情報収集を行い、相談者に適切な支援を行います。【健康増進課】 適切な給食を提供できるように引き続き努めます。【保育課】						

(3)思春期保健対策の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
46	思春期相談体制の充実 (子ども家庭課・生涯学習課・指導課・学校教育課・健康増進課)	<p>[子ども家庭課]学童期、思春期等の相談に様々な角度で対応できるよう、関係機関と連携を図りながら、引き続き、相談体制を強化していきます。</p> <p>[生涯学習課]青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>[指導課]子ども専用ホットラインの電話相談やいじめ報告・相談アプリの導入により、今後も継続して相談体制の充実に努めます。</p> <p>[学校教育課]松戸健康福祉センターなど、関係機関との連携を高め、思春期相談活動の充実に努めます。</p> <p>[健康増進課]学童期、思春期における悩みや性の問題に関し、松戸健康福祉センター(保健所)、学校保健との連携を強化し、相談しやすい体制づくりに努めます。</p>									A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
相談件数(件)【生涯学習課】				81	—	70							
保健主事部会参加回数【健康増進課】		1/年	1/年	0/年	1/年	1/年	市民からの相談対応の有無【健康増進課】		有り	有り	有り	有り	有り
電話相談・アプリ相談件数【指導課】		33	35	44			相談アプリ登録率【指導課】		4.5%	5.6%	7.2%		
松戸保健所による思春期講演会の実施【学校教育課】		1	1	1	1								
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
<p>家庭児童相談として、学童期や思春期の児童本人や、保護者の相談に応じました。【子ども家庭課】</p> <p>思春期の悩みや性問題等について、電話相談を行いました。【生涯学習課】</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で検討会が中止となりましたが、松戸健康福祉センター、学校保健と連携をとり、思春期相談についての情報共有を行いました。【健康増進課】</p> <p>電話相談よりもアプリによる相談の方が多く、子どもにとってアプリは相談しやすいツールであることがわかりました。登録率が高くないのが課題で、研修会を通じて相談事業の啓発に努めました。【指導課】</p> <p>思春期に関する教材作成(性教育、エイズ、情報教育)に取り組みました。【学校教育課】</p>						<p>引き続き、学童期や思春期の悩みの解決に向けた取り組みを継続します。【子ども家庭課】</p> <p>引き続き、相談窓口について広報・ホームページでPRしていきます。【生涯学習課】</p> <p>令和3年度も引き続き検討会等で情報共有を行い、連携を強化し、相談しやすい体制づくりに努めます。【健康増進課】</p> <p>子ども専用ホットラインの電話相談やいじめ報告・相談アプリの導入により、今後も継続して相談体制の充実に努めます。また、一人一台端末への導入や啓発カードの配布により、相談アプリの登録率の増加に努めます。【指導課】</p> <p>今後も事業の継続を図り、松戸健康福祉センターの思春期相談事業の積極的活用を図ります。【学校教育課】</p>							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
47	学校保健と地域保健の連携強化(学校教育課・健康増進課)	<p>[学校教育課]関係機関との連携を高め、中学校保健体育における指導の充実に努めます。</p> <p>[健康増進課]学校保健と地域保健のそれぞれの情報の共有化を行いながら、学校保健と地域保健との連携を図っていきます。</p>									A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
学校保健主事部会での健康増進課保健師による指導助言【学校教育課】		1	1	1	1								
市内学校での健康教育の有無【健康増進課】		有り	有り	有り	有り	有り	性教育実施回数【健康増進課】		2	1	1	2	2
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
<p>中学校保健体育における指導を充実させるため、教材作成(性教育、エイズ、情報教育)に取り組みました。【学校教育課】</p> <p>学校からの依頼に基づき、性教育の実施を行いました。学校の実情に合わせた性教育の内容となるよう打ち合わせを行い、内容の修正を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で、1回の開催となりましたが、オンラインで実施することができました。【健康増進課】</p>						<p>今後も生活習慣病のみならず、薬物乱用、喫煙防止、飲酒防止、体の発育に関する指導にוות、各関係機関との連携を図り、充実に努めます。【学校教育課】</p> <p>学校保健と地域保健のそれぞれの情報共有を行いながら、連携を高め、事業内容の充実に努めます。【健康増進課】</p>							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
48	性と生の教育の充実 (公民館)	自分を大切に、健康に生きるための学習を、保護者を対象に講座を開催します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症の影響により小中学校での家庭教育講座を中止した学校が多く、開催出来ていません。							新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、可能な限り感染症対策を行い、学校や保護者と共同での、自分を大切に健康に生きるための学習を保護者を対象の講座を開催します。							

(4)小児救急医療の充実

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
49	救急医療体制の充実 (健康増進課)	平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急による初期診療・応急処置(第1次救急)を継続するとともに、子ども急病電話相談などの周知を図り、夜間・休日における小児の急病の際にも安心できる体制を確保していきます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
利用者数				784										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
平日夜間・休日診療所及び東葛病院において夜間小児救急による初期診療(第1次救急)を実施しました。							引き続き一般社団法人流山市医師会の協力により実施していきます。							

基本目標3 子どもが健やかに成長できる教育環境づくり

(1)子どもの人権の擁護													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
50	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発 (指導課・子ども家庭課・障害者支援課)	<p>[指導課]人権週間等で意識を高めるだけでなく、子どもの権利や人権意識の定着のため今後も周知・啓発に努めます。また、流山市いじめ防止対策推進条例及び流山市いじめ防止基本方針を踏まえ、子どもたちがいじめに対する考え方を身に付けられるように、スクールロイヤー等による「自他ともに人権を守る大切さ」をテーマに「いじめ防止授業」を実施します。</p> <p>[子ども家庭課]児童の個性と権利を尊重するという考え方を社会に普及、定着させるため、児童の権利に関する理念の普及、啓発に努めます。</p> <p>[障害者支援課]関係課と連携を図り、相談支援を行う中で周知・啓発に努めます。</p>										A B C D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
権利擁護に関する普及啓発(指導課)							関係課との連携強化(指導課)						
スクールロイヤーのいじめ防止授業(校)(指導課)				22	25	26	いじめ防止授業実施数(指導課)						26
権利擁護に関する普及啓発(障害者支援課)							関係課との連携強化(障害者支援課)						
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
<p>児童の個性と権利を尊重するという考え方を普及、定着させるため、障害児を含めた虐待防止のパンフレット及び啓発物品の配布を行いました。また、個別支援会議への参加や関連するケースに關係課と連携して対応を行い、権利擁護を踏まえた相談支援を行いました。[障害者支援課]</p> <p>子どもの権利に関するポスター等で周知・啓発に努めた。スクールロイヤーによるいじめ防止授業を児童生徒向けに行い、いじめに関する法律や、いじめに対する考え方を指導しました。[指導課]</p> <p>児童虐待防止のパネル展示、啓発物品の配付、ポスター掲示等により、子どもの権利に関する理念の普及、啓発を行いました。[子ども家庭課]</p>						<p>障害児を含めた権利擁護のためのパンフレットを配布し、普及啓発を行います。また、関係課と連携を図り、相談支援を行う中で周知・啓発に努めます。[障害者支援課]</p> <p>人権週間等で意識を高めるだけでなく、子どもの権利や人権意識の定着のため今後も周知・啓発に努めていきます。スクールロイヤーによるいじめ防止授業を全ての学校で、継続して実施し、いじめに対する児童生徒の理解を促進していきます。[指導課]</p> <p>引き続き、啓発ポスター等を活用して普及啓発を行います。[子ども家庭課]</p>							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
51	指導者の育成(指導課)	人権に関する研修を更に進めるため、また、教職員・保護者等の人権意識の高揚を図るためにも、指導者の育成に積極的に努めます。										A B C D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
人権教育、道徳教育に係る研修会への参加や情報発信を促す				-			道徳教育推進研修会実施回数				-		
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
<p>コロナ禍の中、当初予定していた道徳教育推進研修会や松戸市人権擁護委員協議会流山部による「中学生人権講演会」や「小学生人権教室」を開催することができなかったが、人権問題啓発に係る保護者会資料への掲載及び全校連絡メール、学校便りやホームページ等を活用し情報を発信するなど各学校の様々な工夫を促しました。</p>						<p>教職員の学校人権研修会への参加を通して、人権意識の高揚を図ります。</p>							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標					令和2年度評価						
52	相談・カウンセリング (子ども家庭課・指導課・生涯学習課)	<p>[子ども家庭課] 児童・生徒・保護者がいるいろいろな問題について気軽に相談できるよう、相談事業の充実を図るとともに、必要であれば、カウンセリングが受けられるよう、関係機関との連携を強化します。</p> <p>[子ども家庭課] に心理士を配置し、カウンセリング等には至らないが心理的な側面からの相談にも対応できるようにします。</p> <p>[生涯学習課] 青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>[指導課] スクールカウンセラーを配置し、支援・相談体制の充実を図ります。</p>					A B C D						
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
相談件数(件)[生涯学習課]				81	—	70							
相談対応件数(延べ)[子ども家庭課]				14,230	—	—							
相談件数[指導課]		1,404	1,648	1,774			教育支援センター活用人数(見学・体験含む延べ人数)[指導課]		36	38	48		
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
<p>相談者が相談しやすい雰囲気づくりや、言葉かけ等に配慮しながら適切なアドバイスや、相談内容によっては関係諸機関を紹介するなど、相談活動の充実にも努めました。</p> <p>進路や将来に対する不安や焦り、親子関係の悩みを持つ青少年やその保護者からの相談が多かったことから、相談内容に柔軟に対応できるよう、研修会等への積極的な参加に努めました。[生涯学習課]</p> <p>子どもや保護者に対して、心理士によるアセスメントや心理的側面からの助言を行いました。また、子どもや保護者が抱える課題等について、より専門的で継続的な支援が必要な場合は、医療機関等関係機関と連携・対応しました。[子ども家庭課]</p> <p>カウンセラーによる教育相談を充実させ、学校や関係機関と連携した対応に努めました。[指導課]</p>						<p>引き続き、広報ながれやま等を通して、相談事務を広く周知し、市民により多くの相談の機会を提供できるよう努めます。</p> <p>相談者の相談に適切に対応することで、よりよく解決できるよう支援します。また、継続相談では、必要に応じて学校や他機関との連携を図ることで、きめ細やかな対応に努めます。[生涯学習課]</p> <p>複雑多岐な家庭の問題に適切に対応できるよう、心理士によるアセスメントや心理的側面からの助言を活用し、相談・支援体制の充実を図ります。また、カウンセリング希望や必要性がある場合は、適切な機関・部署につなぎます。[子ども家庭課]</p> <p>相談内容に合わせた対応を進めていけるよう、学校はもとよりスクールソーシャルワーカー等関係機関との連携を強め、支援・相談を進めていきます。[指導課]</p>							

(2) 次代の親の育成

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標					令和2年度評価						
53	小・中学生職場体験学習 (指導課)	<p>「職場体験学習」の体験先として、乳幼児と小・中学生がふれあう機会を設けます。今後も継続して受け入れを依頼していきます。</p>					A B C D						
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
体験学習先として提供された幼稚園及び保育園の数		28	37	—			体験学習を含めたキャリア学習を通して満足感を得た児童生徒の割合(%)		100	100	—		
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
令和2年度は、感染症対策の観点から、体験学習は全面中止となりました。幼稚園教諭や保育士を含めた、様々な仕事について知る職業人調べを行いました。						令和3年度も、感染症対策の観点から体験学習を見合わせる学校が多数という現状です。小・中学生について知ることができる機会が設けられるよう、体験学習先としての受け入れの依頼をするとともに、調べ学習や職業人講話に活かせるように働きかけます。							

(3) 教育環境の充実

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標					令和2年度評価						
54	保育士研修 (保育課)	<p>保育に関する新しい課題に応じた保育内容や保育手法に関する研修や勉強会を実施し、保育士の資質の向上に努めます。</p>					A B C D						
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症の影響で各種研修会や勉強会が中止となったため、園内部の研修を行いました。リモート等を活用した研修会への参加、勉強会の開催を検討する必要があります。						リモートによる研修会等の参加、コロナの状況を考慮したうえで勉強会を実施し保育士の資質向上に努めます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
55	子育て支援員研修 (子ども家庭課)	地域で保育や子育ての支援活動に関心を持っている方が、活動するための十分な知識や技術を修得していただくために、研修を実施します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
子育て支援員研修受講者数		56	47	-	-									
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、オンラインでの開催も検討しましたが、研修の申し込み時期が早く、対応が困難であるため、研修を中止としました。							地域における子育て支援の担い手を確保するために、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、子育て支援員研修を実施します。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
56	幼児教育に関する研究・研修 (指導課)	質の高い幼児教育が望まれているため、幼児教育の目的に応じた適切な指導が行われるよう、その研究・研修活動の支援の一層の充実を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
保幼小関連研究会回数		4	4	2	2	3	研究会参加人数(延べ人数)			262	302	149		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
保幼小関連研究会では、連携の在り方について、保育研究会では、「幼児教育を小学校につなぐ」をテーマに研究を行い、研修の充実を図ることができました。							幼児教育の目的に応じた適切な指導や保幼小の接続期における取組についてなど、研究・研修活動の内容の工夫改善に努め、支援を体制の充実を図ります。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
57	心の教育 (指導課)	「特別の教育 道徳」の時間を「要」として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育が進められるよう「道徳教育推進研修会」等、学びの機会を広げていきます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
「特別の教育 道徳」の研究授業を実施させ、実践を積ませる				-			道徳教育推進研修会開催					-		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
様々な研修会の場で、道徳教育の推進にふれ、学校教育活動全体を通じて道徳教育が進められるようにしました。「道徳教育推進研修会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、中止としました。							道徳教育推進研修会を開催し、生命尊重教育を含めた道徳指導に関しての具体的な取組や、効果的な指導方法について学ぶ機会を広げていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
58	環境教育 (指導課)	学校周辺の自然や、校内に設置されたビオトープを利用して、社会・理科・総合的な学習の時間における環境教育の推進を行います。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
環境教育を取り入れている学校数		9	12	14	20	26	研修会への参加			25	25	25	26	26
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
ビオトープの活用形態は様々であるが、学校の実態に応じて、学習や生活の場として活用できるようにしています。							総合的な学習の時間を活用して、SDGsを意識した持続可能な開発のための教育(ESD)の実践を各学校に推進していきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
59	国際社会への対応 (指導課)	新学習指導要領の改訂による、外国語の教科化や外国語活動の導入に伴い、学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するために全小中学校に外国語指導助手と英語活動指導員を配置します。また、外国籍の児童生徒が増加傾向にあります。日本語での日常会話が難しい児童生徒への日本語指導を今後も継続して実施します。										A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
教師の外国語指導力向上に取り組む							小学校ALTの人数					8	8	9
							英語活動指導員及び小学校ALT研修会回数					1	2	2
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
小学校ALTを増員し、小学校2校に1名を配置しました。3年生から6年生までの授業で、英語活動指導員やALTと学級担任がチームティーチングで授業を行うことができようにし、小学校外国語の教科化に対応しました。また、日本語での日常会話が難しい児童生徒への日本語指導の充実を図りました。							3年生から6年生までの授業で、英語活動指導員やALTと学級担任がチームティーチングで授業を行うことができようにします。また、学級担任と効果的なチームティーチングが実践できるよう、研修会を実施し、実践に活かせるようにします。引き続き日本語での日常会話が難しい児童生徒への日本語指導の充実を図っていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
60	情報化社会への対応 (指導課)	今後予想されるICTの進展に対応するため、新しい機器の調査研究に努め、更なる環境の充実に努めます。また同時にネットモラルに係わる指導も適切に行います。										A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		10.3	10.0	1	1	1								
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
市内全ての小中学校に校内ネットワーク無線LAN環境整備を実施しました。また、児童生徒1人に1台のタブレット端末の整備及び持ち帰りを実施しました。さらに、夏休みの平和教育やドリルソフトを導入しました。課題としては、児童生徒の増加に伴うタブレット端末の整備や保守・管理および、教職員のタブレット端末を活用した授業のスキルアップがあげられます。							タブレット端末の整備や保守・管理については、令和3年度に民間企業との業務委託を締結し対応していきます。また、教職員のスキルアップについては、ICT支援員による研修会を中心に対応できるような体制を整えていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
61	特別支援教育 (指導課)	障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を一層伸ばせるよう、交流教育を積極的に進めます。また、市のカウンセラーや関係機関と連携しながら障害の程度や本人・保護者の願いに沿った就学相談を行い、フォローをしっかりと進めます。										A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
就学相談件数		314	318	310			面談を重ね、本人・保護者の願いに沿った就学支援につなげた割合(%)			100	100	100		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばせるよう教育環境の充実に努めました。より良い就学相談の在り方を目指して業務内容について見直しを図ってきました。							障害のある児童生徒に対して、個に応じた教育課程を編成し、交流学級での学習もより充実させていきます。カウンセラーや関係機関との連携を深め、より適切な就学相談を目指します。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
62	世代間交流 (高齢者支援課・保育課)	【高齢者支援課】地区社会福祉協議会、高齢者ふれあいの家等域において、高齢者と子どもたちの交流の場の拡大を図ります。世代間交流を通じて、子どもが高齢者と触れ合うことにより、高齢者の生きがいの創出及び子どもの「高齢者を大切にする気持ち」「人のことを思いやる気持ち」を育みます。 【保育課】核家族化が進む中、世代間交流及び地域交流を行うことにより、世代間の隔たりをなくし、子育ての良き理解者を増やすことに努めます。										A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
地区敬老行事参加者【高齢者支援課】		18,476	16,569	6,584			高齢者と子ども達のふれあい指数(高齢者の満足度)【高齢者支援課】			80	75	40		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症を避けながら、行事の形態を変え、緊急事態宣言の合間を縫って敬老行事を活動しました。【高齢者支援課】 世代間交流、地域交流を行うことはできませんでした。コロナ禍において他者との交流は難しい状況にあります。【保育課】							新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、地域のニーズに合わせた高齢者と子ども達のふれあいの場の提供を図ります。【高齢者支援課】 現状での交流は難しいと思われませんが、今後に向けて検討していきます。【保育課】							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
63	体験学習の推進 (指導課・公民館・博物館)	<p>[指導課]数多くの体験学習の場を設定し、児童生徒の感性を磨き、情操面を養うことに努めます。</p> <p>[公民館]高校や大学、NPO法人など地域の教育資源を活かし、親子で、家族で、達成感が得られるような体験学習の場の創出に努めます。</p> <p>[博物館]博物館子ども教室の内容を充実させて、継続していきます。外部団体等とも協働して、子ども向けの事業を展開していきます。</p>										A(B)C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
体験学習事業所数[指導課]		170	173	174	174	175	体験学習を含めたキャリア学習を通して満足感を得た児童生徒の割合(%) [指導課]		100	100			
博物館子ども教室[博物館]		234	205	133	160	160							
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事前申し込みによる定員等規模の縮小を行うことにより、高校生による舞台ワークや親子チャレンジ教室(ソーラークッカーや切り絵行灯作り、スズムシ飼育教室)を開催しました。[公民館]</p> <p>令和2年度は、感染症対策の観点から、体験学習は全面中止となりました。体験学習の場の一覧を参考に、様々な仕事について知る職業人調べや職業人講話を行いました。[指導課]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、講座が中止や参加人数を制限した中で実施しました。[博物館]</p>							<p>新型コロナウイルス感染症の影響による規模の縮小は継続しつつ、可能な限り高校や大学、NPO法人など地域の教育資源を活かし、親子や、家族で、達成感が得られるような体験学習の場の創出に努めます。[公民館]</p> <p>令和3年度も、感染症対策の観点から体験学習を見合わせる学校が多数という現状です。調べ学習や職業人講話に活かせるように、様々な種類の体験学習の場を設定することを目指し、情操面を養うことにつなげます。[指導課]</p> <p>感染症対策を行いながら、事業を展開していきます。[博物館]</p>						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
64	絵本のふれあい体験の支援 (図書館)	<p>乳幼児や保護者、子育てにかかわる方が、絵本を通してふれあう場をつくることで、これからの子育てに役立つように支援します。また、乳幼児がいつでも、どこでも色々な絵本を楽しむように、子育て関連施設へ乳幼児向けおすめ本セットを設置していきます。(おはなし しゅっぱつしんこう！)</p>										A(B)C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
ブックセット設置施設数		30	22	95	96	14	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数		9,520	10,456	11,641	11,740	12,914
絵本の購入冊数		1,967	1,335	1,935	1,950	924							
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
<p>図書館司書がこどもの成長過程に応じて選んだおすめ本の絵本を手作りのケースに入れ、乳幼児向けブックセットを制作し、市内の子育て関連施設に設置しました。</p>							<p>既存の子育て関連施設への設置は完了したので、次年度では、新設した施設に絞った設置に取り組みます。</p> <p>本を通して乳幼児と保護者のコミュニケーションが図れる効果があり、本を親しむことのできる環境を整備していきます。</p>						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
65	文化・芸術活動の支援 (公民館・生涯学習課・図書館)	<p>[公民館]地元の文化諸団体の発表の場として、さらに、全国や世界で活躍されているアーティストを招へいし、芸術文化に触れることができる場として、ホールの活性化に努めます。</p> <p>[生涯学習課]子どもたちの文化・芸術活動を活性化するため、市内の文化・芸術活動団体と協働して活動成果を発表する場の提供に努めます。</p> <p>[図書・博物館]ブックスタート関連事業の拡充事業として、乳幼児向け「赤ちゃんおはなし会」を実施し、絵本の他にわらべうたを通じて乳幼児と楽しくコミュニケーションを行う機会を増やします。また、これから整備される(仮称)南流山地域図書館は、子育て支援施設との複合施設になるため、この特性を活かし事業拡充を進めていきます。</p>										A(B)C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
活動成果を発表する場の確保 [生涯学習課]				2			図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数[図書館]		9,520	10,456	11,641	11,740	12,914
赤ちゃんおはなし会の実施回数 [図書館]		60	52	0	60	60							
赤ちゃんおはなし会の参加人数 [図書館]		1,108	920	0	1,330	1,330							
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
<p>市民ギャラリーにおいて、市内中学生の作品展を実施しました。</p> <p>青少年健全育成推進大会のアトラクションとして、市内中学校吹奏楽部の出演機会を提供しました。[生涯学習課]</p> <p>新型コロナウイルスの影響により「赤ちゃんおはなし会」は実施しませんでした。乳幼児と保護者を対象に、わらべうたで遊ぶ会を2回実施し、参加者は合計26人でした。[図書館]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの文化芸術事業が中止となりましたが、事前申し込みによる定員等規模の縮小を行うことにより、子育てコンサート(おたが静流、アース、あつがる隊)を1回開催しました。[公民館]</p>							<p>引き続き、子どもたちの活動成果を発表する場の提供に努めるとともに、新たな活動機会となる場を模索します。[生涯学習課]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加人数に定員を設ける等の対策を取りながら、赤ちゃんおはなし会を実施します。[図書館]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による規模の縮小は継続しつつ、可能な限り地元の文化諸団体の発表の場として、さらに全国や世界で活躍されているアーティストを招へいし、芸術文化に触れることができる場として、ホールの活性化に努めます。[公民館]</p>						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
66	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室(スポーツ振興課)	今後も各種スポーツイベントを実施し、子どもたちがいつでもどこでもスポーツに親しめる環境づくりを継続します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
コミュニティスポーツフェスティバル、コミュニティスポーツのつどい、流山市スポーツレクリエーション祭、流山ロードレース大会(ファンラン含む)の参加者数(合計)		5,699	6,206	1,351			スポーツで健康・体力の維持・増進を行っている市民の割合(%)		35	37	35		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している流山ロードレース大会やコミュニティスポーツフェスティバルが開催できないことが課題となった。体を動かす貴重な機会として「ながれやまスポーツフェスタ」を開催し、子どもたちが気軽にスポーツを楽しめる環境を整えました。							新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、流山ロードレース大会をオンラインで開催、また感染症対策を十分に取ながらの「ながれやまスポーツフェスタ」の開催など、コロナ禍のスポーツ振興について引き続き模索していきます。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
67	学童クラブと保育所の交流(保育課・教育総務課)	【保育課】【教育総務課】保育所から小学校進学に伴う学童クラブへの円滑な移行を図るため、必要な情報交換・交流を行います。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
学童クラブとの情報共有はできませんでした。保育時間帯に違いがあること、コロナ禍にあることなど交流が難しい状況にあります。【保育課】 近隣の保育所の外遊びのために、学童クラブの園庭を開放しました。新型コロナウイルス感染症の流行により、学童クラブ利用児童と保育園児の交流は避ける必要がありました。利用児童に対する情報共有は、学校と行うことが殆どです。【教育総務課】							対象年齢や保育時間帯の相違があることから、どのような事柄について情報共有、情報交換していくかを検討します。【保育課】 引き続き、交流の強化、情報共有、連携強化に努めます。学童クラブ園庭の開放を、今後も引き続き実施します。必要な情報交換・交流については、そのあり方・必要性を再検討すべきと考えています。【教育総務課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
68	私立幼稚園への支援(保育課)	私立幼稚園との情報共有や市民への園情報の提供などを行い、私立幼稚園を支援し、園との連携を深めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
私立幼稚園に対し、情報提供を行いました。また、AED設置事業補助金や心身障害児指導補助金等の支援を行いました。													

(4) 家庭の教育力の向上													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
69	家庭教育講座 (公民館)	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を開催します。さらに、企画運営への市民の参加を推進します。 ・乳幼児期の家庭教育講座										A⊙B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
小中学校の講座実施回数		24	24	2			小中学校の講座参加者数		2,757	2,370	148		
乳幼児期の講座実施回数		115	86	42			乳幼児期の講座参加者数		5,547	3,101	815		
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症のため、学校が休講するなど企画運営への市民参加の活動が行えない地区が多く、公民館のホールを利用して市内小中学校の保護者を対象とした映画上映を行いました。乳幼児期の講座は、助産師、栄養士、保健師等を講師に迎え、定員を減らし、室内の換気や手指消毒等感染症対策を行いながら開催しました。双子等の講座では先輩ママにも参加いただき体験談等を気軽に聞けるような取り組みを行いました。						新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、引き続き市内各小中学校のPTAから選出された家庭教育準備委員と生涯学習専門員が講座を企画・運営し、親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を開催します。乳幼児期の家庭教育講座も定員を減らし引き続き専門の講師による講座等を開催します。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
70	子育てサロン (公民館)	乳幼児期の子どもを持つ方の交流の場を提供します。保育ボランティア、地域ボランティア等の協力により事業を展開します。 ・双子や三つ子のために「さくらんぼくらぶ」を実施 ・子育てサロンの実施										A⊙B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症の影響で、事前申し込みによる定員等規模の縮小を行いつつ、子育て中の親の不安感や孤立感が増大しないように保育ボランティアやおもちゃ修理ボランティアなどにご協力いただき開催しました。さくらんぼくらぶ3回、ひだまりサロン13回、南流山ぼかぼかサロン7回開催しました。						新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら引き続き子育て中の親の不安感や孤立感を解消できるように音楽家や人形劇等交流の場を提供します。							
(5) 地域活動の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
71	地域子ども活動の支援 (生涯学習課)	各種団体等の活動を通して、子ども同士や子どもと地域の人々の交流が図れるよう、各種の活動に対し積極的な支援に努めます。 ・めざせ！あそびの達人 ・チャレンジキャンプ ・チャレンジゲーム										A⊙B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
青少年健全育成補助金交付団体数		4	4	4									
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
創作・野外活動等を行う「めざせ！あそびの達人」、異年齢交流ができる「チャレンジゲーム」や「親子たこあげ大会」、コロナ禍でもできる事業を模索し行われた「チャレンジクイズ」「謎解きラリー」等を開催する青少年健全育成団体の活動の支援に努めました。						各種団体等の活動を通して、子ども同士はもちろん子どもと地域の人々の交流が図れるよう、各種の活動に対し積極的な支援に努めます。コロナ禍でのイベント開催についても、担当課としてフォローします。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
72	ボランティアの育成・推進 (生涯学習課・コミュニティ課)	【生涯学習課】中学・高校生を中心としたジュニアリーダーを育成している子ども会育成連絡協議会の活動を支援します。 【コミュニティ課】市民活動団体の運営・活動の支援に努めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
市民活動団体の相談件数【コミュニティ課】		14	24	11		50	市民活動推進センターの団体登録件数【コミュニティ課】		180	196	199		205
ジュニアリーダー初級講習会参加人数(人)【生涯学習課】		27	31	15	30	30	子ども会育成事業費補助金交付額(千円)【生涯学習課】		310	310	310		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
業務委託先の流山市民活動推進センターを通じ、WEB会議システムの活用方法に関する講座や、コロナ禍における新しい生活様式等を踏まえた上での市民活動の在り方等に関するパネルディスカッションや講演会を開催するなどの新しい取り組みを通じ、市民活動団体の運営や活動支援に取り組みました。今後はコロナ禍以前からの課題である、行政等の連携を含む相談機能の強化やセンターの認知度を高める取り組み等について努めます。【コミュニティ課】 子ども会育成連絡協議会が行う活動を支援し、団体が主催する研修会等を通じて、ボランティアの育成を推進しました。【生涯学習課】							流山市民活動推進センターが市民活動団体からより一層必要とされる機関となるよう、相談方法の拡充やHP、SNSの発信強化に取り組むとともに、令和4年度からの次期運営管理業務委託事業者選定に際し、サウンディング型市場調査等を活用し、実効性のある仕様書に基づくプロポーザル方式による公募を実施するなどの取組みを通じ、中間支援機能の強化を図ります。【コミュニティ課】 地域社会において、児童健全育成の分野で活動するボランティアの養成・育成及び推進を図ります。【生涯学習課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
73	少年スポーツ団体の育成 (スポーツ振興課)	子どものスポーツを通じた体力の向上と仲間作りのため、指導者、団体の育成を図ります。(少年野球連盟・少年サッカー連盟・スポーツ少年団) また、ジュニアスポーツ団体指導者は毎年入れ替わることから、今後もジュニア期の正しいトレーニング方法の普及に努めていきます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
少年スポーツ指導者講習会参加者数		160	147	74			学校開放利用参加者数(人)		348,134	344,116	232,221		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
ジュニアスポーツ指導者に対し、正しいトレーニング方法の普及に努めています。実際に現場で指導に当たっている指導者の方に広く参加していただくことが課題であることから、開催時期(大きな大会の少ない11月)、開催時間(指導後に参加しやすい夕方方の時間帯)を工夫しています。							多くの指導者が参加できるように、引き続き開催時期や開催時間を工夫します。不適切な指導を根絶するため、令和3年度は内容を見直し、座学により、指導者の正しい心構えを講演していただくことを検討しております。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
74	児童館・児童センターの活用 (子ども家庭課)	子どもの居場所、遊びの場となる児童館・児童センターにおいて、利用者の意見を取り入れたイベント等を通じての仲間づくりや、また利用したいと思う企画の充実を進めます。また、インクルージョンの考え方を取り入れながら、地域における子育ての支援の拠点となるよう事業推進に努めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
							児童館・児童センター利用者(数)		143,528	125,879	43,527		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
コロナウイルス感染症対策を徹底し、初めて来館の親子も自由に遊べる場として「あそびの広場」を実施し、職員も加わり親子の友達づくりのサポートを行いました。							感染対策を徹底し、これまでの対応を継続していきながら、新たな取り組みとし自宅でも児童館・児童センターの行事に参加できるオンライン配信による行事等の充実を図ります。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
75	学校体育施設の利用 (スポーツ振興課)	子どもの地域活動の場として、校庭、体育館等、学校施設の開放を進めています。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
学校体育施設開放校数		25	25	25			学校開放利用参加者数(人)			348,134	344,116	232,221		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症対策を適切にとりながらの学校施設開放の継続が課題です。新型コロナウイルス感染症の影響により、一時学校開放中止を余儀なくされましたが、チェックシートにまとめられた各種感染対策をとりながら、学校開放利用の継続に努めています。							新型コロナウイルス感染症の状況が日々変化していく中、最新の状況に対応した形で学校体育施設開放の継続に努めています。							

(6)子どもを取り巻く有害環境対策の推進

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
76	青少年相談 (生涯学習課)	青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。 46,52,118に同相談業務を掲載										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
相談件数(件)				81	—	70								
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
思春期の悩みや性問題等について、電話相談を行いました。							引き続き、相談窓口について広報・ホームページでPRしていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
77	街頭補導活動 (生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、保護者をはじめ市民を対象に啓発を行い、地域・家庭の教育力の向上を図り、同時に関係機関と連携しながら青少年にとって有害な社会環境の浄化を推進し、街頭等でのパトロールを実施します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
街頭補導活動実施回数(回)				541			街頭補導従事者延べ人数(人)					2,460		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
街頭補導活動による地域での見守りを多くすることで、問題行動等の早期発見及び未然防止に努めました。また、緊急時や不審者情報を受けた際に職員による特別パトロールを実施しました。							引き続き、街頭補導活動を通じて地域での見守り活動を行い、充実を図ります。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
78	有害図書等の調査 (生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、有害な社会環境の整備を推進し、街頭、店舗等でのパトロールを実施します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
							店舗調査・店舗利用状況調査対象店舗数(店)			185	125	101		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
店舗調査を実施し、有害図書等の取扱いについて調査しましたが、健全育成条例に反するような取扱いはありませんでした。							青少年を取り巻く社会環境を良くするため、多くの市民とともに社会環境の整備活動を更に充実させます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
79	青少年ふれあい運動 (生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、保護者をはじめ市民を対象に啓発を行い、地域・家庭の教育力の向上を図り、同時に関係機関と連携しながら青少年にとって有害な社会環境の浄化を推進します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
実行委員会・実行活動実施回数(回)				3			実行委員会参加人数(人)					391		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
地区活動実行委員会を開催し、青少年の健全育成と非行防止のため、実行委員による店舗利用状況調査、協力要請、情報共有、地区活動の実施計画等を通じて、青少年の社会環境の浄化に取り組みました。							関係機関の連携を強化しながら、地区活動がより具体化するようさらに充実させます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
80	青少年主張大会 (生涯学習課)	青少年が日頃考えている抱負や意見を発表を通して広く伝えることで、青少年の理解と関心を深めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
青少年主張大会運営事業費(千円)		797	738	-			発表者を含む青少年主張大会来場人数(人)			399	396	-		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
市内各中学校・高等学校から発表者を募集し、青少年が日頃考えている抱負や意見を多くの聴衆者に聞いていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。							新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、開催に向けて準備を進めていきます。青少年への理解をより多くの人に深めてもらうため、大会の告知等PRに努めます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
81	非行防止活動等ネットワーク づくり (生涯学習課)	青少年の健全育成及び非行防止を図るために、関係団体を支援し、かつ関係団体との連携を深めることで、活動の充実を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
学校警察連絡協議会の開催(回)		4	4	2										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
学校警察連絡協議会を開催し、学校と警察で情報交換や研修会等を実施し、生徒指導等に活かせるよう、協議会の充実を図りました。(令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響で2回中止)							学校と警察相互の情報交換や共有がさらに充実するよう、協議会のあり方を工夫したり、研修会の内容を充実させることで、青少年の健全育成事業に役立てます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
82	青少年育成会議への活動支援 (生涯学習課)	青少年育成会議による様々な活動の支援に努めます。 ・青少年健全育成推進大会 ・親子たごあげ大会 ・青少年健全育成啓発活動										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
							青少年育成団体連携事業費補助金交付額(千円)			660	660	660		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
青少年育成功労者等の表彰、青少年を健全に育てる運動啓発標語・ポスター入選者の表彰を行う青少年健全育成推進大会や親子たごあげ大会等を開催する青少年育成会議の活動を支援し、青少年の健全育成を推進しました。固定化している運営委員の拡充が課題です。							引き続き、青少年への理解と健全育成の機運を高めるため、青少年育成会議の活動を支援します。							

基本目標4 子どもの安全を守る生活環境・体制づくり													
(1)安全なまちづくりの推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
83	歩道の整備 (道路建設課)	歩行者の安全性向上のため、現在行っている新設・改良工事において歩道整備等を行います。歩道の整備等においては、交通弱者といわれる方々に配慮した道路整備に努めています。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
歩道整備実績件数(件)		4	1	3			快適に移動できる道路網の整備がされていると感じている市民の割合(%)		64.6	-	71		
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
歩道の整備等においては、交通弱者といわれる方々に配慮した道路整備に努めています。令和2年度実績として、東小学校前通学路道路拡幅整備工事、都市計画道路3・5・23号江戸川駒木線道路改良工事、都市計画道路3・5・23号江戸川駒木線道路改良工事(その2)の3件の工事で歩道の整備を行いました。						歩行者の安全性向上のため、新設・改良工事において該当箇所があれば適切に対応していきます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
84	公共施設の整備 (関係各課)	既存の公共施設については、子どもをはじめすべての市民が安全で利用しやすいよう整備に努めます。また、新たに公共施設を建設する際には、ユニバーサルデザインの観点から建設を推進します。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
-							-						
-							-						
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
流山市おおたかの森児童センターでは、点字ブロックやスロープを設置した他、施設内を土足で入れるよう工夫し、車いすの方やベビーカーを利用される方でも入退室がスムーズに出来るよう配慮しました。また、おおたかの森小学校においても、ユニバーサルデザインの観点を取り込み、表示案内板等が誰でも分かるようにしています。						流山市立地域図書館・南流山児童センターの整備においても、ユニバーサルデザインはもちろんの事、流山市グリーンチェーン認定制度に合致するよう工夫し、環境にも配慮した施設と出来るよう進めます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
85	公園の整備・充実 (みどりの課)	子どもが遊びを通して、健やかに成長できるよう、防犯面にも配慮した公園等の遊び場の整備・充実に努めます。公園施設の長寿命化計画を策定し、公園遊具施設の更新をはじめとした公園等の維持管理を計画的に行います。									A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
							公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)			76.7	78.3		79.9
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。既存公園の複合遊具新設・更新を行いました。(おおたかの森東3号公園、南流山3号公園)既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検結果を踏まえて、現場確認し、更新・補修を行いました。老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行うようにします。						既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行います。既存公園の複合遊具新設・更新を行います。公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行います。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
86	駅施設の整備 (まちづくり推進課)	鉄道事業者と連携して、駅施設の利便性向上を推進します。										A B C D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
初石駅施設整備事業(駅東側から改札にアクセス可能とするための駅舎橋上化及び自由通路整備)の事業進捗率(事業費ベース：%)		0	0.4	1.3	3.6	12	公共交通機関の利用について満足と感じる市民の割合(まちづくり達成度アンケート：%)		75.0	73.1	81.5	76.0	76.0
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
橋上駅舎、自由通路及び東口駅前広場に関する基本設計を令和2年7月末に完了しました。コロナ禍の深刻な影響を受けている東武鉄道株式会社において、事業実施に係る基本協定に関する社内調整や事務手続きに時間を要したことから、当初予定していた実施設計の着手に至りませんでした。						東武鉄道株式会社との協議を進め、基本協定を令和3年6月28日に締結しました。今後は、橋上駅舎、自由通路及び東口駅前広場の実施設計に着手するとともに、補償物件・用地取得の協議を進めていきます。また、西口駅前広場の基本設計に着手しました。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
87	住環境の整備 (都市計画課・建築住宅課)	良好な住環境の維持、形成を図るため、地区計画や建築協定など、住民主体によるまちづくりを推進します。【都市計画課】 建築協定の締結に向けて協議をしていきます。【建築住宅課】										A B C D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
							良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		75.9	74.2	83.7	76.0	76.5
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
地区計画や地区街づくり計画、建築協定、大規模開発行為の手続きなどの運用により、住民主体による街づくりを推進しました。【都市計画課・建築住宅課】						引き続き、地区計画や地区街づくり計画、建築協定、大規模開発行為の手続きなどを運用していくとともに、景観シンポジウムを開催し、市民等が景観を形成する主体として、自らの果たすべき役割について理解を深め、興味を抱けるよう啓発を図ります。【都市計画課・建築住宅課】							

(2)安心して外出できる環境の整備

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
88	防犯対策の充実 (コミュニティ課)	防犯対策及び防犯の広報啓発に努めます。										A B C D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
市内の防犯カメラ設置数(台)		80	90	105	100	115	刑法犯認知件数(件)		1,164	1,039	985	1,000	950
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)		71	72	72	73	75							
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
警察からの要望箇所に防犯カメラを設置し、地域の犯罪抑止に努めました。市民安全パトロール隊や自主防犯パトロール隊と協力し、地域の見守り活動に努めました。また安心メールにて市内の犯罪発生状況等を配信し、防犯の広報啓発を行いました。						今後も犯罪抑止のため防犯カメラを設置していきます。また、警察や関係機関と連携し、地域の見守り活動を継続して行っていく他、安心メールを活用して犯罪情報の発信を行い、被害の未然防止に努めます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
89	防犯灯の整備 (コミュニティ課)	防犯灯を整備し、夜間における通行者の安全確保に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
新規設置防犯灯数(灯)		345	345	380	400	400	刑法犯認知件数(件)			1,164	1,039	985	1,000	950
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
各自治会の協力のもと防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行いました。							各自治会の協力のもと防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行います。また、市内を巡回し、暗く事故や事件の発生が予測される場所には積極的に防犯灯を設置していきます。							

(3)子どもの交通安全を確保するための活動の推進

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
90	通学区域内の交通安全施設 整備 (道路管理課・学校教育課)	通学路における危険個所の改善や安全施設の設置等、交通安全対策を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
通学路合同点検箇所数 (道路管理課・学校教育課)		41	51	30										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
『流山市通学路交通安全対策プログラム』に基づき、毎年通学路合同点検を実施して、路面表示、ガードレール及びラバーポール等の設置・補修を行いました。【道路管理課】							引き続き、通学路における危険個所の改善や安全施設の設置等、交通安全対策を図ります。【道路管理課】							
各学校から通学路における危険箇所を集約し、警察、道路管理課など関係機関と現地点検を行い、児童生徒が安全安心に登下校できるように対策を講じました。【学校教育課】							区画整理事業により、新たな道路整備がされていくことから、交通状況の変化に合わせ、適宜、安全対策を講じていきます。【学校教育課】							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
91	交通安全教室の充実 (道路管理課)	幼稚園・保育所、小学校等において交通安全教室を開催し、交通事故防止に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
交通安全教室の開催件数		26	21	0										
交通安全啓発DVDの貸出件数		19	15	1										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症の影響により、交通安全教室の開催ができませんでした。要望に基づき、交通安全啓発DVDの貸し出しを行いました。							新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、可能な範囲で交通安全教室を開催すると共に、引き続き、交通安全啓発DVDの貸し出しを行い、交通事故防止に努めます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
92	チャイルドシートの貸出 (道路管理課)	チャイルドシート・ジュニアシートを貸出し、車両乗車中の交通事故による被害の軽減に寄与します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
チャイルドシート稼働率(乳幼児用)		98.6	66.8	40.8										
チャイルドシート稼働率(児童用)		48.3	37.5	40										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
乳幼児用チャイルドシートの貸出は、毎月高い稼働率で推移し、多くの利用者の利便性向上と乳幼児の安全確保に努めました。							引き続き、チャイルドシート・ジュニアシートを貸出し、車両乗車中の交通事故による被害の軽減に寄与します。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
93	交通安全教室の普及・啓発 (道路管理課)	市内小中学校を対象に、交通安全意識の向上を図ります。また、新1年生を対象に、ランドセルカバーを配布する等、普及・啓発に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
ランドセルカバー配布枚数		2,117	2,221	2,494										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
年4回開催されている交通安全運動期間において啓発に努め、毎年新1年生を対象にランドセルカバーの配布を行いました。							引き続き、市内小中学校を対象に、交通安全意識の向上を図ります。また、新1年生を対象に、ランドセルカバーを配布する等、普及・啓発に努めます。							

(4) 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
94	関係機関、団体との情報交換 (コミュニティ課・保育課)	【コミュニティ課】子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めます。 【保育課】子どもの安心安全の確保を図るため、警察等の関係機関との連携を強めていきます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
新規設置防犯灯数(灯) 【コミュニティ課】		345	345	380	400	400	刑法犯認知件数(件) 【コミュニティ課】			1,164	1,039	985	1,000	950
流山市学校警察連絡協議会(回) 【コミュニティ課】		4	4	4	4	4								
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置をしました。その他、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めました。【コミュニティ課】							子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置をするなど、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めます。【コミュニティ課】							
機会あるたびに警察と連携し、子どもの安心安全の確保を図りました。【保育課】							引き続き警察とのさらなる連携強化を図ります。【保育課】							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
95	安全マップ等の作成 (指導課)	安全マップや通学路マップ等を作成し、子どもが安心・安全に生活できるよう情報提供を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
地域マップ・危険箇所マップ作成数		22	22	25	25	26	地域マップ・危険箇所マップ作成数			22	22	25	25	26
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
流山市の小中学校26校のうち、新設校であるおおぐろの森小学校以外の学校は、地域マップ・危険箇所マップが作成することができました。新設校であるおおぐろの森小学校は、来年度を目標に作成するように努めています。							作成完了をしている学校においては、日々の現状が変化していくので、随時新しい内容や変更をし、実態にあったものにするように努めます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
96	自主防犯活動の支援 (コミュニティ課)	各自治会等で実施する防犯活動や地域に設立された自主防犯パトロール隊の活動を支援します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
防犯啓発用品購入費(円)		789,729	516,643	688,630	724,900	650,000	刑法犯認知件数(件)			1,164	1,039	985	1,000	950
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
自主防犯パトロール隊への防犯啓発用品の貸与などの支援を行い、自主防犯活動の推進を図りました。							今後も自主防犯パトロール隊の活動に必要な防犯啓発用品等を貸与し、活動の支援を行っていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
97	安全管理の促進 (コミュニティ課・保育課・指導課)	【コミュニティ課】安全管理を図るため、啓発活動を推進します。(安心メールの発信・犯罪発生状況の提供) 【保育課】子どもの安全管理を促進するために、職場内研修を定期的実施し、職員と保護者・関係機関との情報共有に努めます。 【指導課】様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、今後も継続した学校等への啓発活動を実施します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
安心メール(防犯)配信実績(件) 【コミュニティ課】		63	89	91	90	90	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) 【まちづくり達成度アンケート】【コミュニティ課】		58.7	60.4	60.2	61.0	61.0
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況等を安心メールで配信するとともに、各自治会へ回覧依頼し、犯罪防止に努めました。【コミュニティ課】 不審者、部外者に対応するため保育所内で研修を行うとともに、保護者にも情報共有を図りました。【保育課】 児童生徒の安全を確保するために、学校等へ安全管理の啓発を行いました。【指導課】							警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況などを自治会等へ提供して事業の継続を図り、犯罪防止に努めます。【コミュニティ課】 マニュアルに沿って防犯対策に取り組み、子どもの安全管理の徹底を図ります。【保育課】 様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、今後も継続した学校等への啓発活動を実施します。【指導課】						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
98	防犯体制の充実 (コミュニティ課)	流山警察署をはじめとする関係機関及び防犯団体等と連携し、防犯体制の充実に努めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
防犯協定事業者数		3	1	1	1	1	刑法犯認知件数(件)		1,164	1,039	985	1,000	950
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)		71	72	72	73	75							
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
自主防犯パトロール隊への活動支援や業務で市内を循環する事業者及び警察と防犯協定を締結するなど、様々な取組みの相乗効果により地域防犯力が向上し、犯罪発生件数は減少しました。							今後も自主防犯パトロール隊への活動支援や事業者、警察と防犯協定締結の推進を図り、地域の防犯力を向上させ、犯罪発生件数の減少を図ります。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
99	防犯に関する普及啓発活動 (コミュニティ課)	安心メール等を活用し、防犯の啓発を行います。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
安心メール登録者数(実人数)		25,063	28,924	35,375	35,000	40,000	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) 【まちづくり達成度アンケート】		58.7	60.4	60.2	61.0	61.0
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
市内の犯罪発生情報を安心メールで配信し、防犯意識向上と被害の未然防止を図りました。また、登録者数増やすため、チラシの窓口配布を行いました。							今後も市内の犯罪発生状況等を安心メールで配信し、犯罪防止に努めます。また、登録者数を増やすため、市内の公的機関や小中学校、携帯ショップ等にチラシを配架します。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
100	保護者・地域との連携による防犯活動(指導課)	保護者や地域の市民、学校、警察などが連携し、「防犯協力の家」の設置や「学校付近のパトロール活動」を行うなど、防犯活動を推進します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
地域学校協働本部の数		6	7	9	9	9	登下校の見守り活動							
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
地域や学校と連携し、登校時・下校時を重点的に学校付近のパトロールを行いました。							地域学校協働本部の活動として、学校付近の登下校指導を積極的に行っていきます。							

基本目標5 男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり													
(1)多様な働き方のできる環境の整備													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
101	就労環境改善への支援 (商工振興課)	少子高齢化に伴う労働力不足を補うために必要な短時間労働や在宅ワークをはじめとする国の制度改革を促進させるため、事業者への周知に努めます。									A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
新型コロナウイルス拡大禍にあって、国は感染拡大防止のための取り組みとして、在宅ワークの推進を奨励し、テレワークに関する情報提供、専門家からの指導・助言、テレワーク設備導入にかかる費用の支援を実施しています。これらの支援情報について、市ホームページや関係団体をおし事業者へ周知しました。							新型コロナウイルス禍において、企業の倒産や従業員の解雇・休職による雇用への影響が出ています。国等の最新支援をはじめ、働き方に係る情報と動向を的確に把握して提供に務めると共に、ハローワークや関係機関との連携を強化し、就労支援を行います。						
102	就職情報の提供 (商工振興課)	ハローワークとの連携により、生活安定のための必須施設として利用促進に努めます。									A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
相談室利用件数		3,529	3,548	3,300	3,000	3,300	就職件数		325	298	275	250	250
職業紹介件数		1,754	1,597	1,753	1,650	1,700							
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
ハローワークとの連携により運営するジョブサポート流山(地域職業相談室)において、求職者に対し職業相談及び紹介業務を実施しています。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、企業の倒産、従業員の解雇・休職などで、求職者が増加し求人が減少する傾向となっています。							新型コロナウイルス感染症の今後の動向に注視し、ジョブサポート流山の利用者が増加する場合を想定して、求職者に対する円滑な支援に支障が生じないよう努めます。						
103	就職・再就職のための職業研修 (商工振興課・企画政策課)	【商工振興課】働き方改革の進展に伴い、正規雇用化に向けた取り組みや就職困難者及び外国人雇用に関する支援を行うため、体制を強化し、市民が安定した生活を送るための支援に努めます。 【企画政策課】就職、再就職を希望する女性を対象として、年齢層に即した講座を開催します。									A(B)C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
就職個別相談相談者数【商工振興課】		77	78	92	70	80	就職個別相談就職者数【商工振興課】		69	68	87	70	70
女性のキャリア形成支援講座実施回数(回)【企画政策課】		1	1	1	1	1	女性のキャリア形成支援講座参加人数(人)【企画政策課】		全3回 延べ72	全3回 延べ71	全3回 延べ45		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
専門のキャリアカウンセラーが相談者に寄り添って就職まで継続した個別指導を行う「就職個別相談」、年間を通してタイムリーなテーマを設定して行う「就職支援セミナー」を実施して、求職者に対する支援に努めました。令和2年度においては、6月からコロナ禍で解雇・離職した者を対象としたスポット支援で、「新型コロナウイルス対策就職相談」を開始しました。【商工振興課】							就職個別相談事業内に「就職氷河期世代コース」を新設し、PCスキル、メンタルフォローを強化した支援を実施します。また、新型コロナウイルスへの対応も氷河期世代と酷似することから、就職個別相談事業内において、連携した相談体制を確保し、求職者への支援に努め安定した生活ができるよう努めます。【商工振興課】						
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、講座募集定員を調整し開催しました。【企画政策課】							広く市民に周知し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めたくうえで、講座を開催します。【企画政策課】						

(2)仕事と子育ての両立の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
104	男女共同参画社会づくり (企画政策課)	男女とも多様な生き方が尊重され、誰もが個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現のため、流山市男女共同参画プランに基づき、施策の展開を図ります。 ・男女共同参画社会づくり講座										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)		18	21	21	18	18	男女が平等に扱われていると思う市民の割合(%)		35.8	32.1	44.2	35.7	45.0
							審議会等委員に女性委員が占める割合(執行機関を除く附属機関等)(%)		37.5	36.0	38.6	38.0	39.0
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催時期の変更及び募集定員を調整し開催しました。また、開催時期により、一部の講座で一時的保育を中止しました。「女性の生き方相談」を実施し、様々な悩みを抱える女性の不安解消や自ら問題を解決できるよう支援を行いました。(指標に表すことができない定性的な成果)						流山市第4次男女共同参画プランに基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めたうえで、啓発講座及び女性の生き方相談等を実施します。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
105	育児への父親の参加 (子ども家庭課・企画政策課・公民館)	【子ども家庭課】父親が育児に参加できる機会を提供するために、今後も父親が参加しやすいイベントを企画します。 【企画政策課】父親が育児の知識や技術を身につける機会を提供するため、各種教室、講座を開催します。また、父親の参加しやすい環境づくりに努めます。 【公民館】父親の育児参加、祖父母の育児参加、地域の子育て力のアップなどを考慮し、講座の企画充実に努めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
男性を対象とした講座実施回数(回) 【企画政策課】		1	1	1	1	1	男性を対象とした講座参加人数(人) 【企画政策課】		全3回 延べ92	全1回 27	全3回延 べ57		
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
父親と子どもを対象とした企画として、「パパとあそぼう」を実施し、父親子どもと遊ぶ楽しさを体験してもらいました。【子ども家庭課】						引き続き、父親が育児に参加できる機会を提供するために、今後も父親が参加しやすいイベントを企画します。【子ども家庭課】							
新型コロナウイルス感染症の影響で規模の縮小の講座に平日でも父親の参加が見られました(南流山ぼかぼかサロン、さくらんぼくらぶ、子育てママのセミナー)。また、子育てコンサートを実施し、音楽を楽しみながら父親も子育てに参加出来る場の提供を行いました。【公民館】						新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策を行い、父親の育児参加しやすい講座の企画充実に努めます。【公民館】							
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、募集定員を調整し開催しました。【企画政策課】						広く市民に周知し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めたうえで、講座を開催します。【企画政策課】							
(3)保育サービスの充実と多様化													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
106	延長保育 (保育課)	就労形態の多様化や、通勤時間の長時間化に対応できるよう、保育時間の延長及び延長保育実施圏の拡大を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
延長保育を実施している施設数		66	72	77	77	91							
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
新設の保育園について延長保育を実施することができました。公立は、18時～19時まで、民間は、18時～19時30分や20時まで実施しています。						今後開設する圏にも延長保育の実施を働きかけていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
107	小規模保育 (子ども家庭課・保育課)	0歳から2歳までの保育需要の状況を踏まえ、今後も小規模保育事業所の整備を進めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
整備定員数		38	37	38	38	38	待機児童数 翌年度4月1日時点(人)			42	26	0	0	0
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
多様な保育ニーズにきめ細かく対応するため、中部地区及び南部地区に定員19名以内の小規模保育事業所を整備しました。卒園児の受け入れ先となる認可保育所との連携を図り整備を進める必要があります。							待機児童数ゼロを継続するため、認可保育所の整備を合わせて、地域ニーズに注視しながら整備を進めます。							
108	一時保育 (保育課)	保護者の病気等により、一時的に保育が必要な場合に対応できるよう、一時保育の充実を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
一時保育を行う施設に補助金を交付し、一時保育の充実をはかりました。							継続して補助金の交付を行います。							
109	産休明け保育 (保育課)	女性の就労の促進を図るため、産休明け保育の充実に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
令和2年度に新規に開設した保育施設のうち半数以上の施設で産休明けからの受け入れが可能となりました。							今後開設する保育施設についても、産休明け保育の実施を働きかけていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
110	病児・病後児保育 (保育課)	病気中及び病気回復期の乳幼児を一時的に預かる事業を推進します。 事業推進に向けて、病児および病後児保育の実施施設を増設します。予約システムの導入を推進します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
病児及び病後児保育実施園数		3	3	3	4	4	利用者数(延べ人数)		369	436	19	600	200
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
令和2年4月1日から「オハナゆめ保育園」で病児・病後児対応型を実施しました。 多くの人が利用できるように、予約方法の見直しを検討しました。 新型コロナウイルス感染症流行下において、その時々状況に応じた事業実施の検討が必要となります。							病児保育事業に電子申請を導入し、利用者の利便性を向上させます。 新型コロナウイルス感染症流行下でも成立する事業展開を目指します。						
111	休日保育 (保育課)	社会状況や利用者からの保育ニーズを踏まえ、休日保育の実施を検討します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み		改善策・次年度の取り組み											
認可保育園においては休日保育の実施は行っていません。 コロナ禍ということもあり、休日保育のニーズがありませんでした。							利用者からのニーズを踏まえ引き続き検討します。						
112	障害児保育 (児童発達支援センター・保育課)	【児童発達支援センター】保育所等訪問支援、並行通園を行います。 【保育課】保育所を利用する園児がお互いの理解を深め協力しながらともに育っていくよう、統合保育や児童発達支援センターにおける保育所等訪問支援事業の推進に努めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
児童発達支援センター保育所等訪問支援契約者数		2	2	2	2	2	延べ利用人数		20	8	5	48	48
統合保育の実施園数		1	1	1	1	1							
私立保育園の障害児児童数(小規模保育事業所除)		17	23										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
障害児が属する集団に適應することができるよう障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援を、コロナ禍の状況のため訪問先の職員に助言を行う、間接的な方法で行ってきました。 統合保育の受け入れを行い集団保育によって園児同士の理解を深めることができました。 並行保育を行っている園児については児童発達センターと連携を図ることができました。							感染状況をみながら障害児の身体及び精神の状況、属する環境等を適切に評価し、効果的な支援につながるよう努めていきます。 統合保育の周知を図り必要とされる児童へ保育の提供を行います。 並行保育を行っている園児については引き続き児童発達支援センターと連携を図っていきます。						
113	学童クラブの活用 (教育総務課)	児童の受け入れ体制を拡充します。市主催の支援員研修を開催するほか、各種研修会への参加支援に努め、質の向上を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
研修会開催件数		3	2	1	2	2	学童クラブの延べ利用人数		20,095	25,440	26,186	30,000	30,000
							支援員の処遇改善のために支払った額(千円)		11,455	20,404	18,099	22,400	20,000
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
令和2年度は学童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催したほか、処遇改善のため、経験に応じて支援員に対する処遇改善のための費用の支払いを行いました。							令和3年度においても、学童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催するほか、処遇改善のため、経験に応じて支援員に対する処遇改善のための費用の支払いを行います。						

114	子育て短期支援(ショートステイ・トワイライトステイ) (子ども家庭課)	社会状況をや利用者からの保育ニーズを踏まえ、休日保育の実施を検討します。										A (B) C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
ショートステイ利用者数(日帰り・夜間)		57	33	30										
ショートステイ利用者数(宿泊)		2	36	19										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少していますが、保護者の疾病や出産の利用の他、レスパイトを理由とした対応や休日の仕事等の利用に対応しました。							引き続き、家庭で養育が困難となった場合に、宿泊を含めた一時的な預かりの利用に、対応していきます。							

基本目標6 保護が必要な子どもへの支援体制づくり

(1) 児童虐待防止対策の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
115	子ども家庭支援拠点(支援拠点事業) (子ども家庭課)	子育てに問題を抱える家庭を支援していくために、専門職を配置した支援拠点の整備に努めます。									A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
心理担当支援員の配置				2	2	3							
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
常勤の心理担当支援員を1名配置したため、子ども家庭支援拠点の設置基準を満たすことができませんでした。また、心理担当支援員2名体制(会計年度任用職員を含む)で心理アセスメントや、心理的側面から子ども及び保護者の支援を行いました。						相談件数の増加や内容の複雑化から、さらに心理担当支援員(会計年度職員)を1名配置し、子ども及び家庭に迅速かつ適切な支援をおこなっていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和2年度評価		
116	児童虐待防止の啓発 (子ども家庭課・指導課・保育課)	【子ども家庭課】児童虐待の早期発見や未然防止を図るため、関係機関の連携を強化し、啓発活動に努めます。 ・パンフレットの配布 ・ホームページ・広報紙等の活用 【指導課】児童虐待の早期発見や未然防止を図るため学校や保護者への啓発活動に努め、関係機関との連携強化に努めます。 【保育課】保育所と関係機関における連携強化し、啓発活動に努めます。									A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
啓発活動の実施(パネル展示) 【子ども家庭課】		1	1	1	1	1							
啓発活動の実施【指導課】				1	1	2	学校の虐待対応の迅速化【指導課】						
R2年度の現状・課題・取り組み						改善策・次年度の取り組み							
児童虐待の早期発見や未然防止を図るため、11月の児童虐待防止推進月間に庁舎内ロビーにてパネル展示をしたほか、広報紙やホームページを活用した啓発活動を実施しました。【子ども家庭課】 校長会で「教職員のための児童虐待対応の手引き(千葉県)」を周知したほか、国、県から発出される通知について、学校内で共有し、必要に応じて学校だよりやホームページを通じて情報発信するように各学校に指導しました。【指導課】 年12回の実務者会議等に参加し情報共有を図りました。【保育課】						引き続き、広報紙やホームページ、啓発グッズを活用した啓発活動を行うほか、児童虐待の防止や未然防止のため関係機関と連携し活動していきます。【子ども家庭課】 虐待を発見しやすい立場にある教職員の「見る目」を養うとともに、虐待が明らかになった場合の関係機関との連携について、日ごろから体制を整えていこう学校に指導していきます。【指導課】 今後も関係機関との情報共有を図ります。【保育課】							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
117	虐待予防と早期発見 (健康増進課・子ども家庭課・保育課)	<p>【健康増進課・子ども家庭課】相談、健診、訪問指導等あらゆる機会における児童虐待の予防と早期発見に努めます。また、必要な児童に対しては、関係機関と連携し、支援の強化を図ります。さらに、育児ストレスや産後うつなどにより、子育てに不安を抱える家庭や虐待の恐れのある家庭に対して、保健師等の家庭訪問や、ヘルパーの派遣により、育児負担の軽減や諸問題の解決を図ります。</p> <p>【保育課】保育所と関係機関が連携し、指導・助言を行うなど、今後も未然防止に努めます。</p>										A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
新規児童虐待受付件数 【子ども家庭課】				444	—	—								
養育支援家庭訪問(実数) 【健康増進課】		15	19	8			産後ケア利用者アンケートで、利用目的に対する達成が満足とやや満足の回答割合 【健康増進課】		92%	96%	100%	100%	100%	
産後ケア利用者数(実数の合計) 【健康増進課】		33	29	31										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
<p>児童虐待の予防や早期発見のため、健康増進課の定例会議に参加し、家庭状況や支援方針について共有したほか、子ども及び家庭への適切な支援に向け、役割分担を行いました。【子ども家庭課】</p> <p>母子健康手帳交付時に面談することで、サポートが必要と思われる方に、妊娠初期から支援を行うと同時に、産後ケアなどの情報提供を行い、スムーズに産後の支援へつなぐことで、育児ストレスや産後うつなどの不安を抱える家庭の児童虐待の予防に努めています。また、健診や乳児家庭全戸訪問等で支援が必要な家庭を把握し、養育支援家庭訪問を実施し育児のサポートをしています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策緊急助成事業として実施した、育児支援等サービス料金の助成により、産後の大変な時期のサポートを行い育児負担の軽減を図りました。【健康増進課】</p> <p>要保護児童対策地域協議会に担当職員が出席し、関係機関との情報共有、連携に努めました。【保育課】</p>							<p>児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関わる機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。</p> <p>次年度も引き続き、支援が必要な方を早期に把握し、適切なサービスや支援を提供するとともに、関係機関と連携し、児童虐待の予防に努めます。産後のサポートが必要な方がスムーズに支援につながるよう、適切な時期に情報提供ができるよう相談体制、事業の内容や時期を検討します。令和2年度・令和3年度に新型コロナウイルス感染症対策緊急助成事業として、実施している育児支援等サービス利用の助成については、コロナ禍に問わず産後、周囲からのサポートを得られない方の育児不安や育児負担の軽減のため、継続を検討します。【健康増進課】</p> <p>引き続き要保護児童対策地域協議会に出席し関係機関との情報共有、連携強化に努めます。【保育課】</p>							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
118	虐待に関する相談の充実 (子ども家庭課・生涯学習課・指導課)	<p>【子ども家庭課】職員等の専門性のスキルアップを図り、家庭児童相談員及びケースワーカーによる児童虐待に関する相談や指導を行いながら、緊急避難体制づくりや啓発事業を推進します。</p> <p>【生涯学習課】青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>【指導課】教育相談から得られる情報を関係機関と共有し、相談体制や啓発事業の充実を図ります。</p>										A B C D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
児童福祉司資格取得講習受講者数 【子ども家庭課】				1	1	1	児童福祉司任用資格取得者数 【子ども家庭課】				4	4	5	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
<p>教育相談においては丁寧な聞き取りを行った上で面談要保護児童対策地域協議会に出席し、関係機関との連携連携の強化を図りました。【指導課】</p> <p>青少年相談の窓口は虐待に関する相談に対応できませんが、関係機関と継続的に情報交換するなど連携を図りました。【生涯学習課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、中止となった研修もありましたが、オンライン等で県が主催する研修講習会に積極的に参加し、スキルアップを図りました。また、広報紙やホームページを利用し、様々な形態の相談先を案内しました。【子ども家庭課】</p>							<p>スクールカウンセラーとの情報共有を密にしながら教育相談を丁寧に実施するとともに、要保護児童対策地域協議会での情報を共有し、関係機関との連携を強化し適切な対応に努めます。【指導課】</p> <p>虐待に関する相談が寄せられた際は、迅速かつ適切に関係窓口を案内できるよう、関係機関との連携の強化に努めます。【生涯学習課】</p> <p>研修・講習会に積極的に参加し、児童虐待に適切に対応できるよう職員の専門性やスキルアップに努めます。また、広報紙やホームページ等により、相談先を啓発します。【子ども家庭課】</p>							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
119	児童虐待防止のための連携強化 (障害者支援課・健康増進課・児童発達支援センター・子ども家庭課・保育課・指導課)	児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心として、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図ります。										A ⊙ C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
個別支援会議の開催【子ども家庭課】				53			児童の安全確認実施率(%) 【子ども家庭課】				97.8			
要保護児童対策地域協議会への参加【障害者支援課】		12	12	12	12	12	関係機関との連携強化 【障害者支援課】							
要保護児童対策地域協議会実務者会議等に出席し関係機関との連携をとって情報共有を図ります【児童発達支援センター】							当センターを利用している要保護児童及び保護者への支援を実施しました【児童発達支援センター】							
要保護児童対策地域協議会の参加回数【健康増進課】		12	12	12	12	12								
子ども家庭課とのケース検討会議の回数【健康増進課】		8	12	9	12	12								
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
<p>児童虐待の通告があった際には、関係機関の協力のもと速やかに児童の安全確認を行いました。また、要保護対策地域協議会での個別支援会議や関係機関への訪問等により、子どもや保護者と関りのある機関・部署と連携し、児童虐待の進行予防や対応を行いました。【子ども家庭課】</p> <p>関係機関との連携強化のため、要保護児童対策地域協議会及び個別支援会議へ参加し、情報共有や支援方針の確認、役割分担等を行い連携を図りながら対応しました。【障害者支援課】</p> <p>要保護児童対策地域協議会実務者会議等に出席し関係機関との情報共有を図りました。また、児童虐待が疑われる当センターの利用者の情報を子ども家庭課と共有を図り保護者への支援につなげていきました。【児童発達支援センター】</p> <p>児童生徒の生命を守ることを最優先に考え、関係機関との連携強化を図りました。【指導課】</p> <p>要保護児童対策地域協議会に担当者が出席、各ケース会議には地区担当が出席し、情報共有を図り関係機関との連携を強化してきました。コロナウイルス感染症の拡大に伴い、子ども家庭課とのケース検討会は3回中止となりましたが、子ども家庭課と情報共有や同行訪問は継続して実施しました。またその他の母子に関係する機関とは積極的に情報を共有し、関係者同士の連携に努めました。【健康増進課】</p>							<p>関係機関等へ要保護児童対策地域協議会の活動理解を深め、児童虐待に対して迅速な対応が行なえるよう努めます。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、個別支援会議を積極的に活用し、関係機関との連携を強化します。【子ども家庭課】</p> <p>要保護児童対策地域協議会に継続して参加し、対象児童の情報共有を行うとともに、関係機関との連携強化及び役割分担を行います。【障害者支援課】</p> <p>今後も関係機関との連携をとりながら情報共有を図り、より効果的な対応ができるように努めます。【児童発達支援センター】</p> <p>今後も関係機関と情報を共有しながら、連携をさらに深めることにより、適切な対応ができるように努めます。【指導課】</p> <p>児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心として、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の行政機関との連携の強化を図り、支援体制の構築に努めます。【健康増進課】</p>							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
120	社会的養育の推進 (子ども家庭課)	虐待等の様々な事情により保護者と暮らすことができない子どもを、できる限り家庭的な環境で養育するため、県と連携し里親制度の普及・啓発を行います。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
啓発活動の実施		-	-	2	2	2								
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
10月の里親啓発月間には広報紙へ掲載、11月の児童虐待防止啓発月間には児童虐待防止の啓発パネル展示と共に、里親啓発のポスター掲示を行いました。							引き続き、10月の里親啓発月間には広報やポスター掲示により、里親制度の普及・啓発活動を行います。							

(2)ひとり親家庭への支援の充実

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
121	ひとり親家庭相談 (子ども家庭課)	母子父子自立支援員の専門性のスキルアップを図り、ひとり親家庭の悩みを解決し、自立を図られるよう母子・父子自立支援員等による相談を実施します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
相談件数		600	582	481										
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
母子・父子自立支援員が、児童扶養手当の申請時等に、ひとり親家庭の相談に対応し、自立を支援しました。また、ハローワークと連携し、職業相談・職業紹介など就労支援を行いました。							引き続き、ひとり親家庭の悩みを解決し、自立を図られるよう母子・父子自立支援員等による相談を実施します。また、千葉県が主催する研修等に参加し、母子父子自立支援員の専門性のスキルアップを図ります。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
122	母子家庭等就労促進費用の 助成(子ども家庭課)	母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格取得のための一定の講座受講料の一部を助成するとともに、1年以上資格取得のための養成機関に在籍する場合に、4年間を限度として毎月一定額の給付金を支給します。また、安定した就業と自立のために高卒程度認定試験の合格を目指すひとり親家庭を対象として学び直し及び就労を支援するための給付金を支給します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格取得のための一定の講座受講料の一部を助成しました。(自立支援教育訓練給付金)また、1年以上資格取得のための養成機関に在籍する場合に、毎月一定額の給付金を支給しました。(高等職業訓練促進給付金)							母子家庭や父子家庭の自立支援及び就労促進のために、引き続き実施します。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
123	ひとり親家庭等生活向上事業(子ども家庭課)	ひとり親家庭等であり、所得が少ない家庭の子どもに学習支援を行うことによって、経済的格差及び教育格差の解消を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
利用者数		-	34	57			学習の習慣がついたと回答した児童数(%)		-	70	63		
協定塾数		-	24	42			希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		-	78	80		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
令和2年度においては、児童扶養手当の現況時に直接学習支援事業の周知・案内を行うことで、利用者数の増加につながりました。							令和3年度からは、対象者を中学校2年生及び中学校3年生に拡大し、生活保護世帯、ひとり親世帯の子ども学習環境の整備に努めます。また、引き続き児童扶養手当現況時に直接、周知・案内を行い、利用促進を促します。						

(3)障害のある子どものいる家庭への支援の充実

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
124	相談体制の充実(障害者支援課・児童発達支援センター)	【障害者支援課】障害を持つ児童の家族からの各種相談について、関係機関と連携を図りながら相談体制の充実に努めます。また、障害児相談支援事業を実施し、障害児のサービス等利用計画を適正に作成できるよう体制を整備します。 【児童発達支援センター】専門職による相談を実施します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
障害児相談支援事業所数【障害者支援課】		7	10	12	10	13	障害児支援利用計画作成者数【障害者支援課】		356	394	433	434	473
障害児相談支援専門員(配置数)【児童発達支援センター】		3	3	2			障害児相談支援(計画相談実施件数)【児童発達支援センター】		407	487	520		
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
計画を作成できる事業所は増加しており、計画作成した障害児数も増加しています。しかしながら、障害児通所支援利用者数の伸びは著しく、セルフプランにて障害児通所支援を利用する障害児の割合は減少していません。【障害者支援課】 障害児相談支援専門員は資格取得により3名の配置を予定していましたが、資格取得ができなかったことから2名となりました。コロナ禍の状況のため、利用者の居宅訪問等は通常通りできなかったものの、電話等において利用児童に適切な障害児支援利用計画作成・モニタリング等の実施に努め、相談支援件数が更に伸びました。【児童発達支援センター】							事業所数及び計画を作成することができる相談支援専門員の人数を増やすため、既存の障害児通所支援事業所及び新規参入の事業者に呼びかけるとともに、開設後のフォローとして計画事業所連絡会の開催を継続していきます。【障害者支援課】 障害児相談支援専門員の資格を取得し業務を遂行できるように専門員の増員を図ります。【児童発達支援センター】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価	
125	就学相談・指導(指導課)	就学前児、就学児(小中)を対象に相談を受け面接をし、一人ひとりの個性や能力を伸ばすための適切な就学先の提供に努めます。また、医療、療育施設、福祉施設、保幼小中、特別支援学級と連携を図り、保護者への情報提供も行います。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
就学相談件数		308	317	306	320		面談を重ね、本人・保護者の願いに添った就学支援につなげた割合		100	100	100	100	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み						
就学前児、就学児(小中)を対象に、相談を受け、面接をし、一人ひとりの個性や能力を伸ばすための適切な就学先の提供に努めました。医療、療育施設、福祉施設、保幼小中、特別支援学校と連携を図り、保護者への情報提供も行いました。							児童生徒数の増加や教育的ニーズの多様化に伴い相談件数が増えているため、就学前児に関しては児童発達支援センターと連携を図り、適切な就学先の提供に努めます。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
126	療育指導・機能訓練 (障害者支援課・児童発達支援センター)	【障害者支援課】障害のある児童の自立のため、障害児通所支援事業により、障害児相談支援、児童発達支援、保育所等訪問支援及び放課後等デイサービスなどの事業を実施します。 【児童発達支援センター】集団・個別療育、機能訓練を実施していきます。										A ⊙ C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
障害児通所支援事業所数 【障害者支援課】		20	20	26	24	27	障害児通所支援事業所延べ利用者数 【障害者支援課】		5,815	7,005	7,844	8,336	11,228	
PT(理学療法)・OT(作業療法)訓練 外来実人数【児童発達支援センター】		45	57	51	57	54	PT(理学療法)・OT(作業療法) 延べ利用人数【児童発達支援センター】		556	587	549	587	587	
外来療育実人数 【児童発達支援センター】		32	33	14	33	15	外来療育延べ利用人数 【児童発達支援センター】		256	377	139	377	166	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
障害児通所支援サービスが必要な児童に対し、サービス提供に係る事業を実施し、自立への促進を図りました。【障害者支援課】 (PT・OT)新型コロナウイルス感染症対策を講じながら個別に機能訓練をととして児童の運動発達を促すことや感覚運動機能の向上を図ってきました。 (外来療育)1クラス当たりの人数を5人までに制限して接触機会を減らすなどの感染症対策を講じました。 集団活動をととして児童の全体的な発達を促す支援を行ってきました。また、親子で通うことで、児童との関わり方や保護者どうしのつながりなど、保護者支援を行ってきました。【児童発達支援センター】							障害児通所支援サービスが必要な児童に対し、適切な支援が提供できるよう体制を整備します。【障害者支援課】 (PT・OT)利用者の健康を第一に感染症対策を講じながら、個別に機能訓練をととして児童の運動発達を促すことや感覚運動機能の向上を図っていきます。 (外来療育)利用者の健康を第一に感染症対策を講じながら、集団活動をととして児童の全体的な発達を促す支援を行っていきます。また、親子で通うことをととして保護者支援を行っていきます。【児童発達支援センター】							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
127	在宅介護サービス (障害者支援課)	障害児を抱えている母親の疾病等在宅介護が必要であると判断された場合は、ホームヘルパーの利用により支援します。										A ⊙ C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
居宅介護を決定している障害児数		10	10	18	12	20	居宅介護の利用日数(障害児)		1,067	1,188	1,308	1,200	1,500	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
障害児の家族状況に応じ、ホームヘルパーの支給が必要な場合において、障害福祉サービスの支給決定を行いました。							引き続きホームヘルパーの利用が必要な家庭へのサービス導入を行います。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
128	特別支援教育の推進 (指導課)	特別支援教育コーディネーターを招集し、コーディネーターとしての資質の向上のため、特別支援教育推進研修会を行います。また、特別支援学級(知的・情緒・言語・難聴)の担任、通級指導教室(言語・LA・情緒)の担当者の研修会も行います。										A ⊙ C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	
特別支援推進研修会 研修回数		3	3	1	3		研修会参加対象者数		25	25	25	25	26	
特別支援学級(知的・情緒)研修会 研修回数		-	-	2	5		研修会参加対象者数		-	-	58	58	63	
特別支援学級(言語・難聴)研修会 研修回数		-	-	3	6		研修会参加対象者数		-	-	8	8	8	
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
令和2年度は、感染症対策の観点から当初予定していた特別支援コーディネーター、特別支援学級(知的・情緒・言語・難聴)の担任、通級指導教室(言語・難聴)担当者向けの講演会と研修会の一部は中止としました。後半は、感染症対策を講じながら、ICT活用において講師を招へいしての研修や、より実践的な活用を進めるための情報交換を行いました。R2年度から、障害種に分けて研修会を開催することにしました。							研修会の内容をさらに充実させ、障害種に応じた専門性を向上させていきます。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
129	居宅訪問型児童発達支援 (児童発達支援センター)	通所による児童発達支援の利用が難しい障害児の居宅を訪問し療育支援を実施します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
居宅訪問型児童発達支援利用実人数		-	0	0	1	1	延べ利用人数			-	0	0	12	12
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
令和元年度から新規事業として加え、サービスを必要とする方に情報が届けられるよう周知を行いました。現在までのところ対象となる児童がならず、利用申込がなかったため利用実績は0でした。							相談支援の中でサービス利用につなげていくように努めます。またサービスを必要とする方に適切な情報が届けられるよう関係機関との連携を図っていきます。							

(4)子どもの貧困対策の推進

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和2年度評価		
130	子どもの貧困対策 (子ども家庭課)	生活保護世帯、ひとり親世帯の子どもへの学習支援や日常生活を身に付けるための支援を行い、子どもが健全に育成される環境を整えながら子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みを行います。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標	主な成果指標			H30実績	R1実績	R2実績	R2目標	R3目標
R2年度の現状・課題・取り組み							改善策・次年度の取り組み							
児童扶養手当の現況時に、ひとり親家庭支援制度に関するアンケートを実施し、学習支援対象者の拡大を希望する声が多かったため、拡大に繋げることができました。							引き続き、子どもが健全に育成される環境を整えながら子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みを行います。							